大学番号:私096

[平成29年度設置]

計画の区分: 学部の設置



# 津田塾大学 総合政策学部

# 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

# 学校法人津田塾大学 平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 千駄ヶ谷キャンパス事務室

おいまンイン ヨコハマ ショウコ 職名・氏名 専門員・横浜 生子

電話番号 03-6447-5911

(夜間) 03-3478-7230

F A X 03-6447-5913

e — mail sc-office@tsuda.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
  - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

- ( )書きにて、現在の名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学新設の場合:「〇〇大学」

・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」

大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」

• 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出 について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

# 総合政策学部

<総	合政策学科>	<b>^</b> °−	・ジ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	1
2.	授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	5
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	16
4.	AC対象学部等を含む大学等の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	17
5.	教員組織の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	19
6.	留意事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・	•	44
7	その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	46

# 1 調査対象大学等の概要等

# (1) 設置者

学校法人津田塾大学

- (2) 大 学 名 津田塾大学
- (3) 大学の位置

〒151-0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷1-18-24

(187-8577 東京都小平市津田町2-1-1)

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を())書きで記入してください。
  - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

# (4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変更状況	備考
理事長	(シマダ セイイチ) <b>島田 精一</b> (平成24年12月20日)		
学 長	(タカハシ ユウコ) <b>髙橋 裕子</b> (平成28年4月1日)		
学 部 長	(カヤノ トシヒト) <b>萱野 稔人</b> (平成29年4月1日)		
学科長等	(コダテ アキユキ) <b>小舘 亮之</b> (平成29年4月1日)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ( )書きで記入してください。
  - (例) 平成29年度に報告済の内容 → (29) 平成30年度に報告する内容 → (30)
  - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
  - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
  - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

## (5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
  - ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表 を追加してください。
  - ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

#### (5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	の計画		備考
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	1
総合政策学部 総合政策学科	法学関係	年 4	人 110	年次 人	人 440	
(学士(総合政策学))						

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
  - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
  - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

#### (5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年月	平成2	7年度	平成2	8年度	平成 2	9 年度	平成3	O年度	平均入学定員	備	考
区分	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	超 過 率	ИН	79
		人		人	110人	-人	110人	人			
A 入学定員	(	)	( [	)	( -	- ) - ]	( [	)			
志願者数	( )	( )	( )	( )	2141 ( - )	( - ) [ - ]	1347 ( - )	( - ) [ - ]			
	L J	L J	L .	L J	2096	LJ	1319	ГЛ			
受験者数	( )	( )	( )	( ) [ ]	( - )	( - ) [ - ]	( - )	( - ) [ - ]	1. 21倍		
合格者数	( )	( )	( )	( )	530 ( - ) [ - ]	( - )	329 ( - )	( - )			
B 入学者数	( )	( )	( )	( )	162 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	105 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]			
入学定員超過率 B/A		•			1.	47	0.	95			

- (注)・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・ ( )内には、編入学の状況について<u>外数で</u>記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「一」を記入してください。
  - ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
  - 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - 転入学生は記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
  - 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

# (5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	平成 2	7年度	平成2	8 年度	平成2	9年度	平成3	O年度	備	考
学	年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		75
						162	-	105			
	1 年次	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ -]		
		( )	( )	( )	( )	( - )	( - )				
								157	-		
	2年次			[ ]			[ ]		[ - ]		
				( )	( )	( )	( )	( - )	( - )		
	3 年次						[ ]	[ ]	г 1		
	3 牛次					[ ]	( )	[ ]	( )		
						, ,		,	,		
	4 年次							[ ]	[ ]		
								( )	( )		
						1	62	2	62		
	計	[	]	[	]	[ -	. ]	[ -	. ]		
		(	)	(	)	( -	)	( -	)		

- (注)・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
  - ・( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。

#### (5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分				内訳		
H色左座	在学者数(b)	退学者数(a)	入学した年度	退学者数	退学者数の	主な退学理由
対象年度			八子した平皮	<b>赵于</b> 1	うち留学生数	
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
十,以20千及	^	^	平成28年度	人	人	
			平成27年度	人	人	
平成29年度	162 人	5 人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	5 人	0 人	他の教育機関への入学
			平成27年度	人	人	
平成30年度	267 人	0 人	平成28年度	人	人	
一次30年及	207 人		平成29年度	人	人	
			平成30年度	0 人	0 人	
合 計	429 人	5 人				

- (注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・ 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。<u>(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要は</u>ありません。)
  - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - ・ 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」) により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための 準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
    - ・就職・学生個人の心身に関する事情・家庭の事情・除籍・その他

# (5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

#### 平成27年度の退学者数(a) \_ = \_ #DIV/0! % 平成27年度の在学者数(b) 【平成28年度】 平成28年度の退学者数(a) 平成28年度の在学者数(b) #DIV/0! % 【平成29年度】 平成29年度の退学者数(a) 平成29年度の在学者数(b) - = -3.08 % 162 【平成30年度】 平成30年度の退学者数(a) 0 % 平成30年度の在学者数(b) 267

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

# 2 授業科目の概要

# <総合政策学部 総合政策学科>

# (1) 一① 授業科目表

# 【認可時又は届出時】

# 【平成30年度】

		在配							年配 必 選 自 教 准 講 助 助	兼任			年配		単位数			専任教				. A	
	授業科目の名称		必	選	自	教	准教	講	助	助			授業科目の名称	平 配 次 当	必	選	自	教	准教	講	助	助	-
	Basics of Interpersonal Communication for Problem Solving (BI-CPS) (課題解決 のためのインター・ パーソナル・コミュ ニケーションの基 礎) IA	1前	修 1	択	由	授	授 1	師	教	手	推 兼3		Basics of Interpersonal Communication for Problem Solving (BI-CPS) (課題解決 のためのインター・ パーソナル・コミュ ニケーションの基 徳)IA	1前	修 1	択	由	授	授 1	師	教	手	3
	Interpersonal Communication for Problem Solving (I- CPS) (課題解決のた めのインター・パー ソナル・コミュニ ケーション) IB	1後	1				1				兼3		Interpersonal Communication for Problem Solving (I- CPS) (課題解決のた めのインター・パー ソナル・コミュニ ケーション) IB	1後	1				1				
	Compassionate Communication for Problem Solving (C- CPS) (課題解決のためのコンパッショ ネット・コミュニ ケーション) IC	1後	1				1				兼3	Compassionate Communication for Problem Solving (C- CPS) (課題解決のた めのコンパッショ ネット・コミュニ ケーション) I C	1				1						
	Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運 用) IA	1前	1				1				兼3		Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運 用) IA	1前	1				1				
	Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運 用) IB	1後	1				1				兼3		Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運用) I B	1後	1				1				
	Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運 用) IC	1後	1				1				兼3		Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運 用) IC	1後	1				1				
	Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読 解) IA	1前	1			2					兼4	基礎科目/英	Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読 解) IA	1前	1			2					
	Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読 解) IB	1後	1			2					兼4	語	Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読 解) IB	1後	1			2					
	Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読 解) I C	1後	1			2					兼4		Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読 解) IC	1後	1			2					
	Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作 文) IA	1前	1			2					兼4		Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作 文) IA	1前	1			2					
	Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作 文) IB	1後	1			2					兼4		Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作 文) IB	1後	1			2					
	Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作 文) IC	1後	1			2					兼4		Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作 文) IC	1後	1			2					

	Negotiation Communication for Problem Solving(N- CPS) (課題解決のための ネゴシエーション・ コミュニケーショ	2前	1		1	兼3		Negotiation Communication for Problem Solving(N- CPS) (課題解決のための ネゴシエーション・ コミュニケーショ	2前	1		1		兼5 <del>兼3</del>
	ン) II A  Conflict Resolution Communication for Problem Solving (CR-CPS) (課題解決 のためのコンフリク ト・レブリューショ ン・コミュニケー ション) II B	2後	1		1	兼3		ン)IIA  Conflict Resolution Communication for Problem Solving (Re-CPS) (課題解決 のためのコンフリク ト・レゾリューショ ン・コミュニケー ション)IIB	2後	1		1		兼5 <del>兼3</del>
	Mediation Communication for Problem Solving (M- CPS) (課題解決のための ミーディエーショ ン・コミュニケー ション) II C	2後	1		1	兼3		Mediation Communication for Problem Solving (M- CPS) (課題解決のための ミーディエーショ ン・コミュニケー ション) II C	2後	1		1		兼5 <del>兼3</del>
	Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキング力を養う内容重視の英語運用) II A	2前	1		1	兼3		Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキング力を養う内容重視の英語運用)II A	2前	1		1		<del>兼</del> 5 兼3
	Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリテムケカを養う内容重視の英語運用) IIB	2後	1		1	兼3		Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティル・シンキング力を養う内容重視の英語運用)IIB	2後	1		1		<del>兼</del> 5 兼3
基礎科目/英語	Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキング力を養う内容重視の英語運用) II C	2後	1		1	兼3	基礎科目/英語	Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキング力を養う内容重視の英語運用)IIC	2後	1		1		兼5 <b>兼3</b>
	Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解 におけるクリティカ ル・シンキング) IIA	2前	1	2		兼5		Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解 におけるクリティカ ル・シンキング) IIA	2前	1	2			兼7 <del>兼</del> 5
	Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解 におけるクリティカ ル・シンキング) IIB	2後	1	2		兼5		Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解 におけるクリティカ ル・シンキング) IIB	2後	1	2			兼7 <del>兼</del> 5
	Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解 におけるクリティカ ル・シンキング) IIC	2後	1	2		兼5		Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IIC	2後	1	2			兼7 兼5
	Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス 英語作文) IIA	2前	1	2		兼5		Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス 英語作文) IIA	2前	1	2			兼7 兼5
	Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス 英語作文) IIB	2後	1	2		兼5		Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス 英語作文) IIB	2後	1	2			兼7 <del>兼</del> 5
	Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス 英語作文) ⅡC	2後	1	2		兼5		Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス 英語作文) ⅡC	2後	1	2			兼7 <del>兼</del> 5

	Leadership Communication for				ĺ					Leadership Communication for						I
	Problem Solving (L- CPS) (課題解決のための リーダーシップ・コ ミュニケーション) IIIA	3前	1		1		兼3			Problem Solving (L- CPS) (課題解決のための リーダーシップ・コ ミュニケーション) IIIA	3前	1		1		兼3
	Management Communication for Problem Solving (M- CPS) (課題解決のための マネジメント・コ ミュニケーション) ⅢB	3後	1		1		兼3			Management Communication for Problem Solving (M- CPS) (課題解決のための マネジメント・コ ミュニケーション) IIIB	3後	1		1		兼3
	Skills Integration in Communication for Problem Solving (SI-CPS) (課題解決 のためのコミュニ ケーション) IIIC	3後	1		1		兼3			Skills Integration in Communication for Problem Solving (SI-CPS) (課題解決 のためのコミュニ ケーション) IIIC	3後	1		1		兼3
	Basics of Content- based Presentation Skills (B-CBPS) (内 容重視のプレゼン テーション力養成の 基礎) ⅢA	3前	1		1		兼3			Basics of Content- based Presentation Skills (B-CBPS) (内 容重視のプレゼン テーション力養成の 基礎) ⅢA	3前	1		1		兼3
	Delivering Competency in Content-based Presentation Skills (DC-CBPS) (内容重視 のプレゼンテーショ ン力養成) IIIB	3後	1		1		兼3			Delivering Competency in Content-based Presentation Skills (DC-CBPS) (内容重視 のプレゼンテーショ ン力養成) IIIB	3後	1		1		兼3
	Interactive Competency in Content-based Presentation Skills (IC-CPS) (内容重視 のプレゼンテーショ ン力養成) IIIC	3後	1		1		兼3			Interactive Competency in Content-based Presentation Skills (IC-CPS) (内容重視 のプレゼンテーショ ン力養成) IIIC	3後	1		1		兼3
	Economics-oriented Advanced Reading (E0-AR) (経済的課題の上級 英文読解) IIIA	3前	1	2			兼5			Economics-oriented Advanced Reading (EO-AR) (経済的課題の上級 英文読解) III A	3前	1	2			兼5
基礎科目	Law-oriented Advanced Reading (LO-AR) (法的課題の上級英 文読解) ⅢB	3後	1	2			兼5		基礎科目	Law-oriented Advanced Reading (LO-AR) (法的課題の上級英 文読解) IIIB	3後	1	2			兼5
<b>英語</b>	Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政治的課題の上級 英文読解) IIIC	3後	1	2			兼5		英語	Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政治的課題の上級 英文読解) IIIC	3後	1	2			兼5
	Basics of Academic Writing (B-AW) (アカデミック・ライ ティングの基礎) IIIA	3前	1	2			兼5			Basics of Academic Writing (B-AW) (アカデミック・ライ ティングの基礎) IIIA	3前	1	2			兼5
	Research for Academic Writing (R-AW) (アカデミック・ライ ティングのためのリ サーチ) IIIB	3後	1	2			兼5			Research for Academic Writing (R-AW) (アカデミック・ライ ティングのためのリ サーチ) IIIB	3後	1	2			兼5
	Problem-solution in Academic Writing (PS-AW) (アカデミック・ライ・ティングにおける課 題解決論文) IIIC	3後	1	2			兼5			Problem-solution in Academic Writing (PS-AW) (アカデミック・ライ ティングにおける課 題解決論文) Ⅲc	3後	1	2			兼5
基礎科目/セミ	1年セミナーA 1年セミナーB 1年セミナーC 2年セミナーA	1前 1後 1後 2前	1 1 1 1	9 9 9	2 2 2				基礎科目/セミ	1年セミナーA 1年セミナーB 1年セミナーC 2年セミナーA	1前 1後 1後 2前	1 1 1	10 9 10 9 10 9 10 9	1 2 1 2 1 2 1 2		

2年セミナーC 2後 1 99 2 1 10 1 2 1 10 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	兼1 兼1 兼1 兼1
## 2	兼1 兼1 兼1
1	兼1 兼1 兼1
1	兼1 兼1 兼1
基	兼1 兼1 兼1
議議	兼1 兼1 兼1
<ul> <li>※計(演習付講義) 1後 2</li> <li>2 2 1 1</li> <li>経済分析(演習付講義) 2 2 1 1</li> <li>経済分析(演習付講義) 2 2 1 1</li> <li>経済分析(演習付講義) 2 2 1 1</li> <li>大戸 2 2 1 1 2 2 2 1 1</li> <li>(計議) 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2</li></ul>	兼1 兼1 兼1
1	兼1 兼1 兼1
・ 義)     2前 2     1       サウイ 付講義)     2後 2     1       ・ 統計 II (演習付講 2後 2     1       ・ 統計 II (演習付講 2後 2     2	兼1 兼1 兼1
付講義)   2後 2   1   1   2   1   2   2   1   1   2   2	兼1 兼1 兼1
大き   大き   大き   大き   大き   大き   大き   大き	兼1 兼1 兼1
Table   Ta	兼1 兼1 兼1
総合政策概論B   1後 1	兼1 兼1 兼1
幹 科	兼1 兼1 兼1
A	兼1 兼1
地域政策論   1後   2   1   1   1   1   1   1   1   1   1	兼1 兼1
題政治参加 2前 2 1 1	兼1 兼1
ボ決 プロパガンダとアド 2後 2 兼1 兼1 フロパガンダとアド 2後 2 東京 ボカシー 3前 2 1 東京 ボカシー 3後 2 1 東京	兼1 兼1
シ連文化交流論   再市民社会における安   全保障     2後     2       1 市民社会における安   全保障     3前     2     1       ボ 法制度設計   が治システム論   型域定政策論   国際標準化論     3後     2     1       1 大田度設計   が治システム論   型域定政策論   国際標準化論     3後     2     1       2 大田度設計   型域定政策論   国際標準化論     3後     2     1       3 後     2     1       3 後     2     1       3 後     2     1       基 企業の社会的責任     1前     2	兼1
計画に対象における安   3前   2   1	兼1
大	
プリ 統治システム論     3後     2     1       ツ 公共管理     3後     2     1       ク 環境政策論     3後     2     1       ・ 国際標準化論     3後     2     1       基 企業の社会的責任     1前     2     兼1       兼1     基 企業の社会的責任     1前     2	兼1
ク環境政策論     3後     2     兼1     ジ環境政策論     3後     2       ・国際標準化論     3後     2     1       基企業の社会的責任     1前     2     兼1     基企業の社会的責任     1前     2	兼1
基 企業の社会的責任     1前     2       兼1     基 企業の社会的責任     1前     2	
	兼1
科 雇用経済論 1後 2	兼1
1   1   2   1   1   2   1   1   2   1   1	兼1
2     2       2     2       2     2       2     2       2     2       2     2       2     2       2     2       2     2       3     2       4     2       5     2       6     2       7     2       8     2       8     2       9     2       1     2       1     2       1     2       2     3       2     3       3     4       4     4       5     4       6     4       7     4       8     4       9     4       1     4       1     4       1     4       2     4       2     4       3     4       4     4       4     4       5     4       6     4       7     4       8     4       8     4       8     4       8     4       8     4       8<	兼1
* P	※1
	兼1
「	
/ 析 3後 2 1 1 / 析 3後 2 1	$\bot$
基 情報通信技術と社会     1前     2     1       幹 インターネット概論     1後     2     1       科 いたがと社会     1前     2     1	
{  Web情報システム論     2前     2     1       1   Web情報システム論     2前     2     1       ル/ 情報セキュリティ論     2後     2       兼1   ル/ 情報セキュリティ論     2後     2	兼1
ご課 プ盟     メディア産業論     2後     2     兼1     ご課 プ盟     メディア産業論     2後     2	兼1
+ cm     - cm	兼1
クモ / フ 火水 付子   5m   2   1	兼1
* <sup>7</sup> / 経営情報システム 3後 2 兼1 * <sup>7</sup> / 経営情報システム 3後 2	兼1
・ 健康医療情報システ 3名 9 第1 9 健康医療情報システ 3名 9	兼1
***     ***     **	兼1
コミュニティスタ ディ 1前 2   兼1   ボイ 1前 2	兼1
基       幹女性のキャリア開発 1後     2       兼1     幹女性のキャリア開発 1後       2     #1	兼1
科 地域ケア論     1後     2     1       日 </td <td></td>	
/ 社会保障の持続可能     2	兼1
イ題   イ盤  ソーシャル・インカ	
_ ; 決   ルージョン論	兼1
プログラン 2位	
プロランド の	兼1
「 E 」 人の国際移動と社会	
マーダイバーシティ社会	
ン論     3前     2     1	
ソーシャル・ヘル ス・マネジメント 3後 2 $ \hat{\pi}1 $ $ \hat{\pi}1 $ $ \hat{\pi}2 $ $ \hat{\pi}3 $ $ \hat{\pi}3 $ $ \hat{\pi}4 $ $ \hat{\pi}4 $ $ \hat{\pi}5 $ $ \hat{\pi}5 $ $ \hat{\pi}5 $ $ \hat{\pi}6 $ $ \hat{\pi}7 $ $ \hat{\pi}7 $ $ \hat{\pi}8 $ $ \hat{\pi}8 $ $ \hat{\pi}9 $	兼1
政治制度論     2 前     2     1     政治制度論     2前     2     1	++
8	•

3後 2前 2前		2 2 2					兼1 兼1 兼1		計 アプリケーション開発 共生社会と法 社会学概論	3前 3後 2前 2前	2 2 2 2							兼1 兼1 兼1
2後 2後 3前 3後 3後		2 2 2 2 2 2	1				兼1 兼1 兼1		福祉政策論 社会階層論 家族社会学 能力開発論 現代社会論 福祉国家論	2後 2後 2後 3前 3後 3後	2 2 2 2 2 2 2		1					兼1 兼1 兼1
3前 3後 3後 4前 4後 4後 4後	1 1 1 1 1 1 4		9 9 9 9 9	2 2 2 2 2 2 2				応用科目	3年セミナーA 3年セミナーB 3年セミナーC 4年セミナーA 4年セミナーB 4年セミナーC 卒業研究プロジェクト	3後 1 3後 1 4前 1 4後 1			10 9 10 9 10 9 10 9 10 9 10 9	1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2				
1前 前 後 後後後前後後前後後 前 前		2 2 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1				兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	総合科目	クリティカル・シンキング 世界の宗教と社会 ソーシャル・デザイン論 経済人類学 科学技術と文明 歴史入門ア入門A キャリア入門B キャリア入門C 日本語ライティングA 日本語ライティングC インターンシップ 語学研修	1前 1	2 2 2 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1		1					兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **
	2前後後後前後後前 後 後 前 後 後 前 前 後 後後後前後後前後後 11 1 1 1	2前後後後33333 3 4 前 後 後 後 前 前 後 後後後前後後前後後前後後 前 1 1 1 1 1	2前     2       2後後     2       2後後     2       233後     2       36     1       36     1       46     1       46     1       46     4       1     2       1     2       1     2       1     2       1     2       1     2       1     2       1     1 <tr< td=""><td>2 in 2 2 2 2 2 3 3 in 3 2 2 3 3 in 3 2 3 3 in 3 3 in 1 9 3 3 in 1 9 3 3 in 1 9 4 in 1 9 4 in 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</td><td>2ih     2       26     2       26     2       26     2       3 in     2       3 it     2       3 it     9       2     2       3 it     9       2     9       4 it     9       2     9       4 it     9       2     9       2     9       2     9       1 it     2       1 it     2       1 it     1       1 it     1    <tr< td=""><td>2 in 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2</td><td>2 in 2 in</td><td>2前       2       1       兼1       兼2       基4       #1       #9       2       4       #1       #9       2       4       #1<!--</td--><td>2前       2       1       兼1       兼2       兼2       兼2       兼2       兼2</td><td>  注</td><td>  注</td><td>  注:   注:   注:   注:   注:   注:   注:   注:</td><td>  2</td><td>  注:   注:   注:   注:   注:   注:   注:   注:</td><td>  2</td><td>  A</td><td>  大田   大田   大田   大田   大田   大田   大田   大田</td><td>  社会学展論   2   1   2   1   2   1   2   2   1   2   2</td></td></tr<></td></tr<>	2 in 2 2 2 2 2 3 3 in 3 2 2 3 3 in 3 2 3 3 in 3 3 in 1 9 3 3 in 1 9 3 3 in 1 9 4 in 1 9 4 in 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2ih     2       26     2       26     2       26     2       3 in     2       3 it     2       3 it     9       2     2       3 it     9       2     9       4 it     9       2     9       4 it     9       2     9       2     9       2     9       1 it     2       1 it     2       1 it     1       1 it     1 <tr< td=""><td>2 in 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2</td><td>2 in 2 in</td><td>2前       2       1       兼1       兼2       基4       #1       #9       2       4       #1       #9       2       4       #1<!--</td--><td>2前       2       1       兼1       兼2       兼2       兼2       兼2       兼2</td><td>  注</td><td>  注</td><td>  注:   注:   注:   注:   注:   注:   注:   注:</td><td>  2</td><td>  注:   注:   注:   注:   注:   注:   注:   注:</td><td>  2</td><td>  A</td><td>  大田   大田   大田   大田   大田   大田   大田   大田</td><td>  社会学展論   2   1   2   1   2   1   2   2   1   2   2</td></td></tr<>	2 in 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 in	2前       2       1       兼1       兼2       基4       #1       #9       2       4       #1       #9       2       4       #1 </td <td>2前       2       1       兼1       兼2       兼2       兼2       兼2       兼2</td> <td>  注</td> <td>  注</td> <td>  注:   注:   注:   注:   注:   注:   注:   注:</td> <td>  2</td> <td>  注:   注:   注:   注:   注:   注:   注:   注:</td> <td>  2</td> <td>  A</td> <td>  大田   大田   大田   大田   大田   大田   大田   大田</td> <td>  社会学展論   2   1   2   1   2   1   2   2   1   2   2</td>	2前       2       1       兼1       兼2       兼2       兼2       兼2       兼2	注	注	注:   注:   注:   注:   注:   注:   注:   注:	2	注:   注:   注:   注:   注:   注:   注:   注:	2	A	大田   大田   大田   大田   大田   大田   大田   大田	社会学展論   2   1   2   1   2   1   2   2   1   2   2

# 【平成29年度】

	年配		単位数	ζ		専任参	女員等	の配置	t	兼任
授業科目の名称	次当	必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	兼担
Basics of Interpersonal Communication for Problem Solving (BI-CPS) (課題解決 のためのインター・ パーソナル・コミュ ニケーションの基 礎) IA	1前	1				1				兼4 <del>兼3</del>

1前

	Interpersonal						[	
	Communication for Problem Solving (I-CPS) (課題解決のためのインター・パーソナル・コミュニケーション) IB	1後	1			1		兼4 兼3
	Compassionate Communication for Problem Solving (C- CPS) (課題解決のた めのコンパッショ ネット・コミュニ ケーション) I C	1後	1			1		兼4 <del>兼3</del>
	Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運 用) IA	1前	1			1		兼4 <del>兼3</del>
	Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運 用) IB	1後	1			1		兼4 <del>兼3</del>
	Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運 用) IC	1後	1			1		兼4 兼3
基礎科目/英	Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読 解) IA	1前	1		2			兼6 兼4
語	Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読 解) IB	1後	1		2			兼6 <del>兼4</del>
	Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読 解) IC	1後	1		2			兼6 兼4
	Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作 文) I A	1前	1		2			兼6 <del>兼4</del>
	Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作 文) IB	1後	1		2			兼6 <del>兼4</del>
	Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作 文) I C	1後	1		2			兼6 <del>兼4</del>
	Negotiation Communication for Problem Solving(N- CPS) (課題解決のための ネゴシエーション・ コミュニケーショ ン) II A	2前	1			1		兼3
	Conflict Resolution Communication for Problem Solving (CR-CPS) (課題解決 のためのコンフリク ト・レブリューショ ン・コミュニケー ション) II B	2後	1			1		兼3
	Mediation Communication for Problem Solving (M- CPS) (課題解決のための ミーディエーショ ン・コミュニケー ション) II C	2後	1			1		兼3

	Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキング力を養う内容重視の英語 運用) IIA	2前	1			1		兼3
	Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT- CBLD) (クリティカ ル・シンキングカを 養う内容重視の英語 運用) IIB	2後	1			1		兼3
	Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT- CBLD) (クリティカ ル・シンキング力を 養う内容重視の英語 運用) IIC	2後	1			1		兼3
	Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解 におけるクリティカ ル・シンキング) IIA	2前	1		2			兼5
	Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解 におけるクリティカ ル・シンキング) IIB	2後	1		2			兼5
	Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解 におけるクリティカ ル・シンキング) IIC	2後	1		2			兼5
	Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス 英語作文) IIA	2前	1		2			兼5
	Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス 英語作文) IIB	2後	1		2			兼5
基礎科	Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス 英語作文) IIC	2後	1		2			兼5
目 / 英語	Leadership Communication for Problem Solving (L- CPS) (課題解決のための リーダーシップ・コ ミュニケーション) IIIA	3前	1			1		兼3
	Management Communication for Problem Solving (M- CPS) (課題解決のための マネジメント・コ ミュニケーション) IIIB	3後	1			1		兼3
	Skills Integration in Communication for Problem Solving (SI-CPS) (課題解決のためのコミュニケーション) IIIC	3後	1			1		兼3

	In	ı	i	i	i	ı	i	i	ı	i	ı
	Basics of Content- based Presentation Skills (B-CBPS) (内 容重視のプレゼン テーション力養成の	3前	1				1				兼3
	基礎)IIIA										
	Delivering Competency in Content-based Presentation Skills (DC-CBPS) (内容重視 のプレゼンテーショ ン力養成) IIIB	3後	1				1				兼3
	Interactive Competency in Content-based Presentation Skills (IC-CPS) (内容重視 のプレゼンテーショ ン力養成) IIIC	3後	1				1				兼3
	Economics-oriented Advanced Reading (EO-AR) (経済的課題の上級 英文読解) III A	3前	1			2					兼5
	Law-oriented Advanced Reading (L0-AR) (法的課題の上級英 文読解)ⅢB	3後	1			2					兼5
	Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政治的課題の上級 英文読解) IIIC	3後	1			2					兼5
	Basics of Academic Writing (B-AW) (アカデミック・ライ ティングの基礎) IIIA	3前	1			2					兼5
	Research for Academic Writing (R-AW) (アカデミック・ライ ティングのためのリ サーチ) IIIB	3後	1			2					兼5
	Problem-solution in Academic Writing (PS-AW) (アカデミック・ライ ティングにおける課 題解決論文) ⅢC	3後	1			2					兼5
基	1年セミナーA	1前	1			9	2				
き報	1年セミナーB 1年セミナーC	1後 1後	1			9	2 2				
ナー	2年セミナーA	2前	1			9	2				
セ	2年セミナーB 2年セミナーC	2後 2後	1 1			9	2 2				
シ基ヤ礎ル料	政治とは何か 経済の仕組み	1前	2			1					
ル料 ン・日 スサ/ イソ	法から見た社会	1後 1後	2			1	1				
- I	計量経済の基礎 データ・サイエンス	1後	2				1				
基礎科目	入門(演習付講義) 統計 I (演習付講	1前 1後	2			1			1		
/	会計 (演習付講義)										<b>※</b> 1
~ l	経済分析(演習付講	1後 2前	2			1					兼1
	表) アルゴリズム (演習					1					
イエン	付講義) 統計Ⅱ(演習付講 義)	2後 2後	2			1			1		
基礎科	総合政策概論A	1前	1			1					
論 日 / 概	総合政策概論B	1後	1			1					
基幹		1前		2							兼1
科目		1後 1後		2		1					
課	政治参加	2前		2		1	1				3£.
ク題 ・解	平和構築 プロパガンダとアド	2前 2後		2							兼1
ボ決	ボカシー			-	l			l	l	I	-,,,,,

リ関連科目	兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
日日   注検   注検   注検   注検   注検   注検   注検	兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
大部   1	兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
2	兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
型   型   型   型   型   型   型   型   型   型	兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
国際標準化論   3後   2   1   1前   2   2   2   2   2   2   2   2   2	兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
主	兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
1後   2   2   2   2   2   2   2   2   2	兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
2	兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
2後 2 2 1 1 2 2 2 3 前 3 位 2 2 3 前 3 位 3 位 3 位 3 位 3 位 3 位 3 位 3 位 3 位	兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
Samily	兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
3	兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
3後   2   1   3   3   3   3   3   3   3   3   3	兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
世	兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
## 1	兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
1	兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
Veb 情報システム論論 2 2	兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
2後 2 2 3前 2 2 2 2 3前 3前 2 2 3前 36 36 36 36 36 36 36 36 36 36 36 36 36	兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
ル・アーキー 2後 3前 2 2 3前 3前 2 2 3前 3 6 3 6 3 6 3 6 3 6 3 6 3 6 3 6 3 6	兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
1	兼1 兼1 兼1
- キテクチャ 3 前 2 1 1 3 前 3 後 2 3 後 2 3 後 2 3 後 2 3 後 2 3 後 2 3 後 2 3 後 2 3 後 2 3 後 2 3 後 2 2 3 6 6 1 前 2 2 5 6 1	兼1 兼1 兼1
アクチャン     3後     2       1前     2       1前     2       1前     2       1後     2       1 後     2       1 後     2       1 次     2       2 前     2       2 次     1       2 次     2       2 次     1       2 次     2       2 次     1       2 次     2       2 次     2       2 次     1       2 次     2       2 次     2       2 次     2       2 次     2       3 次     2       2 次     2       2 次     2       3 次     2       2 次     2       2 次     2       3 次     2       2 次     2       2 次     2       3 次<	兼1 兼1 兼1
2	兼1 兼1
1	兼1
A	1
1前   2   2   1   1前   2   2   2   1   2   2   1   2   2   1   2   2	兼1
基幹女性のキャリア開発     1後       1後     2       2日     2       2前     2       2前     2       2後     2       2     2       2     2       2     2       2     2       2     2       2     2       2     2       2     2       3     2       2     2       3     2       3     2       3     2       3     2       3     2       3     2       3     3       2     2       3     3       2     2       3     3       2     1       3     2       3     2       4     2       4     2<	i
幹 女性のキャリア開発     1後     2       10     2       2     2       2     2       2     2       2     1       2     2       2     1       2     2       2     1       2     2       2     1       2     2       3     2       3     2       3     2       3     2       3     2       3     2       3     2       3     2       3     2       3     2       2     2       3     2       3     2       3     2       3     2       4     2       5     2       6     2       7     2       8     2       9     2       1     2       1     2       2     2       2 <t< td=""><td>兼1</td></t<>	兼1
1後   2   1   1   1   1   1   1   1   1   1	兼1
	1 JK
デ部 性 イパウン (インク) (2前 2 2前 2 2前 2 2前 2 2前 2 2前 2 2前 2 2	
マ ( ) マ ( ) で (	兼1
ロ	
ブ連ジェンダーと社会変     2後       メ月子ともの貧困と教育 トセカーク   セカーク	兼1
メ目子どもの貧困と教育       トとされの国際移動と社会     2後       立人の国際移動と社会     2後       立人の多文化化     2後       マグイバーシティ社会     3前       ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
2後     2       1 の国際移動と社会     2後       2 人の国際移動と社会     2       2 グイバーシティ社会     3前       2 対・イバーシティ社会     3前       2 対・シャル・ヘル     3後       2 水ウン・マネジメント     3後       2 政治制度論     2前       法と公共政策     2前       経済活動のための法     2後       行政学     2       日本政治史     2後       公共哲学     2       1     1       2     2       3     2       3     2       4     2       5     2       6     2       7     2	
日本	兼1
1 の多文化化     2後     2     1       マダイパーシティ社会 論 ソーシャル・ヘル ス・マメルト     3億     2     1       政治制度論 法と公共政策     2前     2     1       法と公共政策     2前     2     1       経済活動のための法     2後     2     1       行政学 日本政治史 公共哲学     2後     2     1       公共哲学     2     2     1	1 JK
マダイバーシティ社会 論     3前     2     1       ソーシャル・ヘル ス・マネジメント     3後     2       政治制度論 法と公共政策 経済活動のための法     2前     2       経済活動のための法     2後     2       行政学 日本政治史 公共哲学     2後     2       公共哲学     2後     2       2     1	
ン 論     3前     2     1       ソーシャル・ヘルス・マネジメント     3後     2       政治制度論 2前 2 2前 2前 2を済活動のための法 2後 7行政学 2後 2 1     2     1       日本政治史 2後 2 2 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
ス・マネジメント     3後     2       政治制度論     2前     2       法と公共政策     2     1       経済活動のための法     2後     2       行政学     2後     2       日本政治史     2後     2       公共哲学     2後     2       1     1       2     2     1       2     2     2       2     2     1	
政治制度論     2前     1       法と公共政策     2前     2       経済活動のための法     2後     2       行政学     2後     2       日本政治史     2後     2       公共哲学     2後     2       1     1     1       2     2     2       2     2     2       2     2     2       2     2     1	<del>}/-</del> 1
法と公共政策 2前 2 経済活動のための法 2後 2 行政学 2後 2 1 日本政治史 2後 2 公共哲学 2後 2 1	兼1
経済活動のための法     2後       行政学     2後       日本政治史     2後       公共哲学     2       1     1	<del>}/-</del> 1
行政学     2後     2     1       日本政治史     2後     2       公共哲学     2後     2     1	兼1
日本政治史     2後       公共哲学     2後       2     1	兼1
公共哲学 2後 2 1	兼1
	AK I
グローバル・ポリ 3前 2 1	
V 1 V A III	
実証政治理論 3後 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
分析 2前 2 1	
+ 日本の財政・金融 2後 2 1	
基 現代経営論 2後 2	兼1
科 行動経済分析 3前 2	兼1
目 貿易政策論     3後     2     1       / 社会調査入門     2前     2	
専 質的調査法 2後 2	兼1
門 プログラミング入門 2後 2 1	7111
プロジェクト・マネ   。	1
	-
多変量解析と公的統   3前   2	兼1
アプリケーション開 2位 2	兼1 兼1
発 3後 2	兼1
共生社会と法     2前       社会学概論     2前	兼1
Tan   Tan	兼1 兼1 兼1
社会階層論 2後 2	兼1
家族社会学 2後 2	兼1 兼1 兼1
能力開発論 3前 2 1 1 3 3 1 2 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	兼1 兼1 兼1
福祉国家論 3後 2	兼1 兼1 兼1 兼1
3年セミナーA 3前 1 9 2	兼1 兼1 兼1 兼1
3年セミナーB 3後 1 9 2 3年セミナーC 3後 1 9 2 9 2	兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
応    3年セミノーに    3後   1       9    2	兼1 兼1 兼1 兼1 兼1

用科目	4年セミナーA 4年セミナーB 4年セミナーC 卒業研究プロジェクト	4前 4後 4後 4後	1 1 1		9 9 9	2 2 2		
総合科目	クリティカル・シンキング 世界の宗教と社会 ソーシャル・デザイン論 経済人類学 科学技術と文明 歴史入門 キャリア入門B キャリア入門B 日本語ライティングB 日本語ライティングC インターンシップ 語学研修 International International 社会戦略とイノベーション	1前 前 後 後後後前後後前後後 前 前 <b>前前</b> 1 <b>1 1 1 1 1 1 1 1 1</b>		2 2 2 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 4 2 1	1 1			兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 <b>兼1 兼1 * * * * * * * * * *</b>

- (注)・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。

  - での上で、<u>総円内域は周山町から変更となっている画面は本土の水土</u>としていた。。 一履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
     1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
     不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- (1) ②授業科目表に関する変更内容

# 【平成29年度】

\*\*TMC 3 中後】

\*2017年度入学者増に伴う英語クラス増のため、英語コミュニケーションクラスの兼任講師の配置を「兼3」から「兼4」に変更。

\*2017年度入学者増に伴う英語クラス増のため、英語Reading およびWriting クラスの兼任講師の配置を「兼4」から「兼6」に変更。

\*大学全体でギャップタームを活用のため、「International Training Course A」(兼1)、「International Training Course B」

(兼1)、「社会戦略とイノベーション」(兼1)を設置した。

\*誤記の理由により「インターンシップ」の単位数を「1」から「1~4」に変更。

# 【平成30年度】

- ・企業からの寄付講座「データ分析実践」 (兼 1) を開設した。 ・企業からの寄付講座「データ分析実践」 (兼 1) を開設した。 ・昇格の理由により、「1年セミナーA, B, C」「2年セミナーA, B, C」「3年セミナーA, B, C」「4年セミナーA, B, C」「卒業研究プロジェクト」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」、「教授9」から「教授10」に変更。 ・昇格の理由により、「多国籍企業論」、「ミクロ・マクロ経済分析」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- (注)・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。

  - 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、 平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。
- (2) 授業科目数

	設置時	の計画			変更		備考	
必修	選択自由		計 (A)	必修	選択	自由	計	1佣-5
61 科目	70 科目	14 科目	145 科目	61 料目 [ ]	70 科目	19 科目 [ 5 ]	150 科目 [ 5 ]	

未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を 記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

# (3) 未開講科目

#### 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
  - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

### (4) 廃止科目

#### 該当なし

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

当該事項なし			

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び 「学生への周知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計	_	0	_	0 %
設置時の計画の授業科目数の計(A)	_	145	_	1/0

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

# 3 施設・設備の整備状況、経費

	区		分					内				!	容				備考
(1)		区	分			専	用	共	用		共用する 学校等の				計		
校		校 纟	き敷 地	<u>t</u>			77, 852 m²		0	m		C	)mi		7	7, 852 m²	
12		運動	場用地	ļ			9, 852m²		0	m²		(	)m²	ຳ 9, 852 <b>㎡</b>		9, 852 m²	(例) 校舎敷地と別地
地		小	計				87, 704m <sup>2</sup>		0	mi		(	)m²	i 87, 704m²		7, 704 m <sup>2</sup>	(徒歩〇分)
等		そ	の他	l			16, 312 <b>m</b> ²		0	m		C	)m²	16, 312m²		6, 312m²	
J		合	計				104, 016m²		0	mî			m²		104	1, 016m²	
						専	用	共	用		共用する 学校等σ			,	計		-
(2) 校			舎		39	, 765 m²	<del>39, 134㎡</del>		0	mî		(	)m <sup>*</sup> (	39, 765 r	n 39	<del>), 134㎡</del>	新校舎の建物登記を 行ったため登記面積に
			1		(39, 7	765 m²	<del>39, 134㎡</del> )	(	0 <b>m</b> ²)	(	0m²)		(39	, 765 <b>m</b> °	<del>39,</del>	<del>134m</del> )	合わせて変更。
				講	義	室	演	室 室	実験実	情報	情報処理学習施訂		語学	学習	施設	_	
(3) 教		室	等			10室		13室	,	0室			0室			0室	
				1							(補貝	力職員	0人)	(補助	職員	0人)	(例)
(4) 専	任教	員研究	室			40.4		等の名称	.W.T.1			室		数 			平成30年4月 専任教授1名を新規
	総合政策学部 図 書 学術						学科			25			至	採用のため (30)			
(5)	親	<b>f設学</b> 語	部等		u ち外国	_		i雑誌 外国書〕	電子ジャ	<b>-</b>	視聴	覚資料	機械・	器具	標	本	図書には電子書籍を含む。
(3)		の名和	尓	()	ウバビ	一面			種 〔うち外国			点		点		<b>4</b>	学術雑誌は電子形態
図				21 00	0 [7.		120		3,300 [320		1	600					<b>マの味きナ医型しし</b>
書•	総	合政策	学部		1 [6,		120	備考参照							Ĭ		
設備					0 [7,		120		3, 300 [3						0 0		
		計		17, 44	1 [6,	145)		備考参照	5, 560 (5	, 460]			(0)	)	(	(0)	
					面		<u> </u>		閲覧座	席数	1	収	納「	可能	₩	数	
(6) 図		書	館			512m²			12	3			2	20, 000			-
( <b>7</b> ) /+		<b>☆</b>	会会		面		積			体育館以	外のスフ	ポーツ施	設の概	要			
(7) 体		育	館					m²									1
		経費	Z	<u> </u>	分		開設年度	完成年		分		前年度	開設。		完成	<b>戊年度</b>	研究費予算の見直し
(8)			教員 1	人当り	研究		350千円 3,500千円			購入費	45, 0	02千円 <del>00千円</del>	9, 93 <del>25, 0</del> 0	6千円 <del>0千円</del>	25, (	000千円	購入図書変更 (29) 購入図書変更 (30)
経費の積り及	兄 :び		共 同	研 3	き 費	等 "	40,000千円 <del>1,000千円</del>	40, 000= 1, 000=		購入費		78千円 <del>00千円</del>	4, 95 <del>17, 66</del>	6千円 <del>6千円</del>	55,	752千円	設備購入時費用削減
維持方 の 概	法要	学生 1	人当		1 年次		第2年次		3 年次	第4年		第5年次		第6年次		手次	
		納付			1, 280 <del>-</del> 1, 310-		1, 093= 1, 123=		1, 106千円 <del>1, 136千円</del>		119千円 1 <del>49千円</del>		Ŧ	円		千円	学費見直し
		学生	納付金	以外の約	以外の維持方法の概要 国庫補助金、雑収入等												

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
  - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、 その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
    - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

# 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	津 田	塾大	: 学						備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学定 員	編入学定 員	収 容 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設年 度	所 在 地		
	年	人	年次	人		倍				
総合政策学部 総合政策学科	4	110	人 一	440	学士 <sup>(総合政策</sup> 学)	1. 21	平成29年度	東京都渋谷区千駄ヶ谷1-18-24		
学芸学部										
英文学科	4年	245人	_	980人	<b>学士</b>	1. 13	昭和23年	東京都小平市津田町2丁目1番1号		
国際関係学科	4年	245人	_	980人	学士 (国際関係学)	1. 12	昭和44年	同上		
数学科	4年	45人	_	180人	学士	1. 25	平成18年	同上		
情報科学科	4年	45人	_	180人	学士	1. 27	平成18年	同上		
大学院										
文学研究科										
修士課程	2年	15人	_	30人	<b>修士</b> <sup>(文学)</sup>	0. 70	昭和38年	東京都小平市津田町 2丁目1番1号		
後期博士課程	3年	5人	_	15人	博士 <sup>(文学)</sup>	0. 46	昭和40年	同上		
国際関係学研究科					<i>t</i> - 1					
修士課程	2年	10人	_	20人	修士 (国際関係 学)	0. 25	昭和49年	東京都小平市津田町 2丁目1番1号		
後期博士課程	3年	3人	_	9人	博士 (国際関係 学)	0. 33	昭和51年	同上		
理学研究科数学専攻										
修士課程	2年	5人	_	10人	<b>修士</b> <sup>(理学)</sup>	0. 80	昭和38年	東京都小平市津田町 2丁目1番1号		
後期博士課程	3年	2人	_	6人	博士	0. 00	昭和47年	同上		
理学研究科情報科学専攻					lider 1			東京都小平市津田町		
修士課程	2年	5人	_	10人	修士 (理学)	0. 80	平成22年	2丁目1番1号		
後期博士課程	3年	1人	_	3人	博士	0. 00	平成24年	同上		

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(<u>A C 対象学部等含む</u>)について、それぞれの学校種ごとに、 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
  - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
  - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

- ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
- ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
- ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
- ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の 平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、<u>入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし、</u> 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

# 5 教員組織の状況

<総合政策学部 総合政策学科>

# (1)一① 担当教員表

【詞	ᆵ	吐	$\nabla$	1+	▭	ш	吐	٦

専任・ 兼担・ の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名
專	教授	成田32年4 内容 は Reading (CBR) (内 I A 容 I A 容 I A 容 I A 容 I A 容 I A 容 I A 容 I A 容 I A 容 I A 容 I A 容 I A 容 I A 容 I A 容 I A 容 I A 容 I A 容 I A C A C A C A C A C A C A C A C A C A	邮	教授	Reading (CBPW) (内に Content-based (D) (内を Content-based (D) (内を Content-based (D)	専	教授	東京 は 2 を

専任・ 兼担・ 兼任	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月	専任・ 兼担・ 兼任	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月	専任・ 兼担・ 兼任	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月
の別		担当授業科目名	の別		担当授業科目名	の別		担当授業科目名
専	- 教授	>		<b>教</b>	>	専	粮名	>
專	教授	大島 (岡本・美穂 平成29年4月 ケローバリゼージョン論市民社会保保・ポリティクス論 1年セセミナーA 1年セセミナーB 2年セセミナーC 3年セセミナーB 3年セセミナーA 3年セセミナーA 4年セセミナーA 4年セセミナーC 本業研究プロジェクト	專	教授	大島(岡本・美穂 平成29年4月 ケローバリゼーション論 市民社会(米ポリティケス論 1年セセミナーA 1年セセミナーC 2年セセミナーB 3年セセミナーB 3年セセミナーB 4年セセミナーC 4年ゼセミナーC 4年ゼセミナーC 4年ゼセミナーC 4年ゼセミナーC 4年ゼセミナーC 4年ゼセミナーC 4年ゼセミナーC 4年ゼロジョナーB 4年研究プログェクト	專	教授	大島 (岡本) 美穂 平成29年4月  ケ ローバリゼーション論 市民社会保・ボリティス論 1年セセミナーA 1年セセミミナーA 2年セセミミナーB 3年セセミミナーB 3年セセミニナナーC 4年セセミ・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・

専任・ 兼担・ 兼任	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月	専任・ 兼担・ 兼任	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月	専任・ 兼担・ 兼任	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月
の別		担当授業科目名	の別		担当授業科目名	の別		担当授業科目名
		津曲 俊英 平成29年7月			津曲 俊英 平成29年7月			津曲 俊英 平成29年7月
専	教授	法治の財ンステム論 日本の財ンステム論 日本の財ンステム 1年セミナーA 1年セセミナーB 2年セセミナーB 2年セセミナーB 3年セセミナーB 3年セセミナーB 4年セセミナーB 4年セセミナーB 4年セセミナーC 4年セセミナーC 4年セセミナーC 4年セセミナーC 4年セセミナーC	専	教授	法治の財ン・金組 会	専	教授	法からシン・企会
		森田 朗 平成29年4月			森田 朗 平成29年4月			森田 朗 平成29年4月
専	教授	地域共称で学 1年年では、1年では、1年では、1年年には、1年年には	曲巾	教授	地公子では、 地公子では、 地公子では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	専	教授	地域 学
専	教授	新海成30年4月 経済の (4) 経済の (5)	唐子	教授	新海成30年4月 経済の所 (素) と世界の (素) と世界の (素) としまいました。 (本) とはいました。 (本) とはいまた。 (本) とはいまた。 (本) とはいまた。 (本) とはいま	専	教授	新海成30年4月 経済の年4月 経済の開発を 関係を 1年中では 1年中で 1年中で 1年中で 1年中で 1年中で 1年中で 1年中で 1年中で
		小舘 亮之 <平成29年4月>			小舘 亮之 <平成29年4月>			小舘 亮之 <平成29年4月>
専	教授	デースス ( )	由于	教授	デース ( )	専	教授	デースン義) では は が は が は が は が は が は が は が は が は が
専	教授	● 保証 を	専	教授	管根の 4 月 > 管根 2 日	専	教授	● 日本

専任・	1	氏 名	専任・		氏 名	ı	専任・		氏 名
兼担・ 兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月 >	兼担・ 兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月 >		兼担・ 兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名
		萱野 稔人 平成29年4月			萱野 稔人 平成29年4月				萱野 稔人 平成29年4月
専	教授	政会会とは何か A B と を	專	教授	政治と は (		専	教授	政治とは何論のA 総合は何論論A 総合会となせましましましましまで、 を合合となせましましましましまで、 を合合となせましましましましましましましましましましましましましましましましましましまし
		森川(渡邊)美絵 平成29年4月			森川(渡邊)美絵 平成29年4月				森川(渡邊)美絵 平成29年4月
專	教授	地域社のサーム は 1 年 1 年 2 年 2 年 4 年 3 年 4 年 4 年 4 年 4 年 4 年 4 年 4 年 4	唐子	教授	地域社のサーム 福能力をセセセンでは、 1年年年では、 1年年年では、 1年年年では、 1年年年では、 1年年年では、 1年年年では、 1年年年では、 1年年年では、 1年年年では、 1年年年では、 1年年年では、 1年年年では、 1年年年では、 1年年年では、 1年年年では、 1年年年では、 1年年年では、 1年年年では、 1年年のは、 1年のは 1年のは		専	教授	地域社が開始 福祉力を開始 1年中七十一日 1年中七七七三三十一日 2年中七七三三十十一日 2年中七七三三十十一日 3年中七七三三十十一日 3年中七七三三十十一日 3年中七七七三三十一日 4年研研 4年研研 7 10 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11
		伊藤 るり 平成30年4月			伊藤 るり 平成30年4月				伊藤 るり 平成30年4月
専	教授	デェッケーと社会変動 人の の から	由や	教授	ジェンター と社会変動会 人の「中では、		由守	教授	ジェング・とを変動 人の国象を社社論 イバー・アン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		Gavan Patrick Gray 平成29年4月			Gavan Patrick Gray 平成29年4月				Gavan Patrick Gray 平成29年4月
		Basics of Interpersonal Communication for Problem Solving (映のためのイン・コン基 (Interpersonal Communication for Problem Solving (リークトン・コン基 (Interpersonal Communication for Problem Solving (I-CPS) (課題解(みのためのインタコミ I B Compassionate Communication for Problem Solving (C-CPS) (課題解(シューケ・ション I B Compassionate Communication for Problem Solving (C-CPS) (課題解(シューケ・ション・コン I C Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運用) I A Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運用) I B I A Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運用) I C III I I I I I I I I I I I I I I I			Basics of Interpersonal Communication for Problem Solving (BI-OPS) (課題解決のためのイン・コン基 Interpersonal Communication for Problem Solving (Interpersonal Communication for Problem Solving (I-OPS) (課題解決のためのイン・コンI IB Compassionate Communication for Problem Solving (C-OPS) (課題解ション・コンI C Communication for Problem Solving (C-OPS) (課題解ション・コンI C Communication for Problem Solving (C-OPS) (課題解ション・コンI C Communication for Problem Solving (C-OPS) (課題解・ション・コンI C Communication for Problem Solving (C-OPS) (内容重視の大ション・コンI C Communication (CBID) (内容重視の英重視の(CBID) (内容重視の英語運用) I B IB				Basics of Interpersonal Communication for Problem Solving (B1-CPS) (課題解決のためのインタコー・エーケー・ション I Management of the Problem Solving (I-CPS) (IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII

専任・ 兼担・ 兼任	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月	専任・ 兼担・ 兼任	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月	専任・ 兼担・ 兼任	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月
の別		> 担当授業科目名	の別		2 担当授業科目名	の別	, H	2 担当授業科目名
專	准教授	Regorial for Communication for Problem Solving (N-CPS) (課ゴシコン) IIA Conflict Resolution Communication for Problem Solwing (N-CPS) (課ゴシコン IIA Conflict Resolution Communication for Problem Solwing (N-CPS) (コリュニB Solwing (N-CPS) (コリュニア (N-CPS) (コリュニア (N-CPS) (コリンカ (N-CPS) (コリカ (N-CP	專	准教授	Regorial for Communication for Problem Solving (N-CPS) (マネカ英語 Conflict all Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クンを重用) にていている形式には、アナンは、アウトのトーン・カを語していていて、アナン・カを語していていて、アナン・カを語していて、アナン・カを語していて、アナン・カを語していて、アナン・カを語して、アナン・カを語して、アナン・カを語して、アナン・カを語して、アナン・カを語して、アナン・カを語して、アナン・カを語して、アナン・カを語して、アナン・カを語して、アナン・カを語して、アナン・カを語して、アナン・カを語して、アナン・カを語して、アナン・カを語して、アナン・カのミーガーのよった。アナン・カを語して、アナン・カのミーガーのよった。アナン・カを語して、アナン・カのミーガーのよった。アナン・カを語して、アナン・カのミーガーのよった。アナン・カを語して、アナン・カのミーガーのよった。アナン・カを語して、アナン・カのミーガーのよった。アナン・カを語して、アナン・カのミーガーのよった。アナン・カール・カーのには、アナン・カール・カーのは、アナン・カール・カーのには、アナン・カール・カーのには、アナン・カール・カーのには、アナン・カール・カーのには、アナン・カール・カーのには、アナン・カール・カーのには、アナン・カール・カーのには、アナン・カール・カーのには、アナン・カール・カーのには、アナン・カール・カーのには、アナン・カール・カーのには、アナン・カール・カーのには、アナン・カール・カーのには、アナン・カール・カーのには、アナン・カール・カーのには、アナン・カール・カーのには、アナン・カール・カール・カール・カール・カール・カール・カール・カール・カール・カール	專		Regulation Communication for Problem Solving (M-CPS) (解型シュコン IIA Communication for Problem Solving (M-CPS) (解型シュコン IIA Communication for Problem Solving (M-CPS) (解型シュコン IIA Communication for Problem Solving (CR-CPS) (アンリュニケー Mediation Communication for Problem Solving (CR-CPS) (アンリュニケー Mediation Communication for Problem Solving (M-CPS) (アンリュニケー Mediation IIA Communication for Problem Solving (M-CPS) (アンリュニケー Mediation IIA Communication for Problem Solving (M-CPS) (アンリュニケー M-CPS) (アンリュニケー M-CPS) (アンリカンリカー IIA Communication IIA COMMUNICATION M-CPS) (アンション IIA Communication IIIA Communication IIIIA Communication IIIA Commun
専	准教授	中	専	准教授	中	専	准教授	中

専任・	1		-	亩红.		r 2		亩丘.		r 2
等担・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	No.	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名
		伊藤(安福) 由希子 平成29年4月				伊藤(安福) 由希子 平成29年4月				伊藤(安福) 由希子 平成29年4月
唐守	准教授	経済のは組み 経量の基準 多面が を変換 を変換 を変換 を変換 を変換 を変換 を変換 を変換		専	准教授	経済の法 経量にの基 を療・ を療・ を療・ を療・ を療・ ・ かせこまナーA 1年セセセナーB 1年セセセセセニュートーB 1年セセセセセセニューナーA 3年年セセセセセセニューナーA 3年年セセセセセセニューテート 4年年ママッ・ 2年年セセセセ・ 4年年ママッ・ 2年年でアッ・ 2年年でアッ・ 2年年でアッ・ 4年年でアッ・ 2年年でアッ・ 2年年でアッ・ 4年年でアッ・ 2年年でア・ 2年年で 2年年を 2年年を 2年年を 2年年を 2年年を 2年年を 2年年を 2年年を 2年年を 2年年を 2年年	-	専	教授	経済の仕組み計量を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発を
		鈴木 貴久 平成29年4月				鈴木 貴久 平成29年4月				鈴木 貴久 平成29年4月
専	特任助 教	統計Ⅰ(演習付講 義) 統計Ⅱ(演習付講		専	特任助 教	統計 I (演習付講 義) 統計 II (演習付講		専	特任助 教	統計 I (演習付講 義) 統計 II (演習付講
		義) Web情報システム論 社会調査入門 プログラミング入門				義) Web情報システム論 社会調査入門 プログラミング入門				義) Web情報システム論 社会調査入門 プログラミング入門
兼担・	准教授	柴田 邦臣 平成30年4月	3	兼担・	准教授	柴田 邦臣 平成30年4月		兼担・	准教授	柴田 邦臣 平成30年4月
		ソーシャルインク ルージョン論				ソーシャルインク ルージョン論				ソーシャルインク ルージョン論
		船林 麻理 平成29年4月				船林 麻理 平成29年4月				船林 麻理 平成29年4月
兼任	講師	Content-based Reading (DBR) (内容重視の英文誌解) I A Content-based Reading (DBR) (内容重視の英文誌解) I B Content-based Reading (DBR) (内容重視の英文誌誌解) I C Content-based Writing (DBW) (内容重視の英語作文) I A Content-based Writing (DBW) (内容重視の英語作文) I B Content-based Writing (DBW) (内容重視の英語作文) I B Content-based Writing (DBW) (内容重視の英語作文) I B Content-based Writing (DBW) (内容重視の英語作文) I C	1975	兼任	講師	Content-based Reading (CBR) (内容 重視の英文誌解) I A Content-based Reading (CBR) (内容 重視の英文誌解) I B Content-based Reading (CBR) (内容 重視の英文誌解) I C Content-based Writing (CBW) (内容 重視の英語作文) I A Content-based Writing (CBW) (内容 重視の英語作文) I B Content-based Writing (CBW) (内容 重視の英語作文) I C	: :	兼任	講師	Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文誌解) IA Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文誌解) IB Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文誌解) IC Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IA Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IB Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IC Edward CBW (CBW) (内容重視の英語作文) IC CBW (CBW)
		大島 万里子 平成29年4月 Content-based Reading (CBR) (内容				大島 万里子 平成29年4月 Content-based Reading (CBR) (内容	-			大島 万里子 平成29年4月 Content-based Reading (CBR) (内容
兼任	講師	重視の英文誌解)IA content-bassed Reading (CBR) (内容 重視の英文誌解) IB content-bassed Reading (CBR) (内容 重視の英文誌解) IC content-bassed Writing (CBW) (内容 重視の英文語作文) IA content-bassed Writing (CBW) (内容 重視の英語作文) IB content-bassed Writing (CBW) (内容 重視の英語作文) IC	TV.	兼任	講師	重視の英文誌解)IA Content-bassed Reading (CBR) (内容 重視の英文誌解)IB Content-bassed Reading (CBR) (内容 重視の英文誌解)IC Content-bassed Writing (CBW) (内容 重視の英語作文)IA Content-bassed Writing (CBW) (内容 重視の英語作文)IB Content-bassed Writing (CBW) (内容	::	兼任	講師	重視の英文誘解)IA Content-based Reading (CBR) (内容 重視の英文読解) IB Content-based Reading (CBR) (内容 重視の英文読解) IC Content-based Writing (CBW) (内容 重視の英語作文) IA Content-based Writing (CBW) (内容 重視の英語作文) IB Content-based Writing (CBW) (内容 重視の英語作文) IB Content-based Writing (CBW) (内容 重視の英語作文) IC
兼任	講師	津島 玲子平成29年4月  Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文誘解) IB Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文誘解) IB Content-based Writing (CBW) (内容重視の英文誘解) IC Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IA Content-based Writing (CBW) (内容重视の英語作文) IB Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) II Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IC	1985	兼任		津島 玲子平成29年4月  Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IB Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IB Content-based (Partial Content-based (Partial Content-based (Partial Content-based (Partial CBR) (DAS 重視の英文読解) IC Content-based Writing (CBR) (内容重視の英語作文) IA Content-based Writing (CBR) (DAS 重視の英語作文) IC CBR) (DAS 重視の英語作文) IC CBR) (DAS TERM (DAS T		兼任	講師	津島 玲子 平成29年4月 Content-based Reading (CBR) (内容 重視の英文読解) IA Content-based Reading (CBR) (内容 重視の英文読解) IB Content-based Writing (CBN) (内容 重視の英文読解) IC Content-based Writing (CBN) (内容 重視の英語作文) IA Content-based Writing (CBN) (内容 重視の英語作文) IB Content-based Writing (CBN) (内容 重視の英語作文) IC
	]		L				ı L			

			 + -			í	+ 6		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名
兼任	講師	廣田 尚美 東成29年4月  Content-based Reading (CBR) (内容 重視の英文誌解) IA Content-based Reading (CBR) (内容 重視の英文誌解) IB Content-based Reading (CBR) (内容 重視の英文誌解) IC Content-based Writing (CBW) (内容 重視の英語作文) IA Content-based Writing (CBW) (内容 重視の英語作文) IB Content-based Writing (CBW) (内容 重視の英語作文) IC	兼任	講師	廣田 尚美 東成29年4月 Content-based Reading (CBR) (内容 重視の英文誌解) IA Content-based (内容 重視の英文誌解) IB Content-based Writing (CBR) (内容 重視の英文誌解) I C Content-based Writing (CBW) (内容 重視の英語作文) IA Content-based Writing (CBW) (内容 重視の英語作文) IA Content-based Writing (CBW) (内容 重視の英語作文) I B Content-based Writing (CBW) (内容 重視の英語作文) I C		兼任	講師	廣田 尚美 平成29年4月  Content-based Reading (CBR) (内容 重視の英文読解) I A Content-based Reading (CBR) (内容 重視の英文読解) I B Content-based Reading (CBR) (内容 重視の英文読解) I C Content-based Writing (CBW) (内容 重視の英語作文) I A Content-based Writing (CBW) (内容 重視の英語作文) IB Content-based Writing (CBW) (内容 重視の英語作文) I C
兼任	講師	Thomas George Meyer 平成29年4月  Content—based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運用) IA Content—based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運用) IB Content—based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運用) IT C	兼任	講師	Thomas George Meyer 平成29年4月  Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運用) IA Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運用) IB Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運用) I I Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運用) I C		兼任	講師	Thomas George Meyer 平成29年4月  Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運用) 1A Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運用) 1B Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運用) 1C (内容重視の英語運用) 1C (内容重視の英語運用) 1C (内容重視の英語運用) 1C (内容重視の英語運用) 1C (内容重視の英語運外ン・コミュトーション・コトロート・レコミューケーション・コトロート・レコミューケーション・コトロート・レコミューケーション)IB Mediation for Problem Solving (のためのゾリューケーション)IB Mediation for Problem Solving (ト・レコミューケーション)IB Mediation for Problem Solving (ト・レコミューケーション)IB Mediation for Problem Solving (ト・ア・リー・コート・レコミューケーション)IB Mediation for Problem Solving (ト・ア・コート・ファート・ファート・ファート・ファート・ファート・ファート・ファート・ファ
兼任	講師	Michael Rayner 平成29年4月  Basics of Interpersonal Communication for Problem Solving (BI-CPS) (課題解決のためのインター・パーソナル・コミュニケーションの基礎) IA Interpersonal Communication for Problem Solving (I-CPS) (課題解決のためのインター・パーソナル・コミュニケーション) IB Compassionate Communication for CPS) (課題解決のためのイン・ジョン) IB Compassionate Communication for CPS) (課題解決のためのコンパッショネット・コミュニケーション) IC	兼任	講師	Michael Rayner 平成29年4月 Basics of Interpersonal Communication for Problem Solving (BI-OPS) (課題解決のためのインコ基 値) IA Interpersonal Communication for Problem Solving (I-CPS) (課題解決のためのインタミュニケ・ション I Solving (I-CPS) (課題解決のためのインタミュニケ・ション I Solving (C-CPS) (課題解談のためのインターにのするというでは、「課題解談のためのインターに、「要解談のためのコンパッシュニケ・ション」 I C		兼任	講師	Michael Rayner 平成29年4月 Basics of Interpersonal Communication for Problem Solving (BI-OPS) (課題解決のためのインター・ジョン JB Compassionate Communication for Problem Solving (I-OPS) (課題解決のためのインター・パーソナル・コミュニケーション) JB Compassionate Communication for Problem Solving (CPS) (課題解決のためのインター・ジョン) IB Compassionate Communication for Problem Solving (C-OPS) (課題解決のためのコンパッション・コミュニケーション) IC

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任 兼担 兼任 の別	- 職名	氏 名 (年 齢) <就任(予) +11/1/2/4/19 日 名
兼任	職名	(年 略) <就任 (予定) 年月 > 担当授業科目名 Robert Dale Hinton 平成29年4月 Basics of Interpersonal Communication for Problem Solving (BI-QPS) (課題解決のためのイン・フェーケーション IC Negotiation for Problem Solving (I-CPS) (課題解決のためのイン・パーソナル・コミューケーション IC Negotiation for Communication for Problem Solving (I-CPS) (課題解決のためのインタミ IB Compassionate Communication for Problem Solving (I-CPS) (課題解決のためのコンパコション・コン) IC Negotiation Communication for Problem Solving (N-CPS) (課題解決のカーション) I C Negotiation Communication for Problem Solving (N-CPS) (課題解決のション・コミ) II C Negotiation for Problem Solving (N-CPS) (課題解決のション・コミ) II A Conffict Resolution Communication for Problem Solving (N-CPS) (課題解決のション・コミ) II A Conffict Resolution Communication for Problem Solving (N-CPS) (RESOLVE) (RESOL	兼任	職名	(年 齢) <就任 (予定) 年月 > 担当授業科目名 Robert Dale Hinton 平成29年4月 Basics of Interpersonal Communication for Problem Solving (BI-CPS) (課題解決のためのイン・コミューケーション IB Compassionate Communication for Problem Solving (I-CPS) (課題解決のためのイン・パーソナル・コミュニケーション) IB Compassionate Communication for Problem Solving (C-CPS) (課題解決のためのインパッション・ファション) I C Negotiation Communication for Problem Solving (N-CPS) (課題解決のためのアンパミュニケーション) I C Negotiation Communication for Problem Solving (N-CPS) (課題解決のション・コミコン I I C Negotiation for Problem Solving (N-CPS) (課題解決のション・コミコン I I A Conflict Resolution Communication for Problem Solving (N-CPS) (課題解決のション・コミロン・コミロン・コミロン・コミロン・ロン・コン I I A Conflict Resolution for I I I A Conflict Resolution for Communication for I I I A Conflict Resolution for I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	兼任	職名	(年 齢) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名  Robert Dale Hinton 平成29年4月  Basics of Interpersonal Communication for Problem Solving (BI-CPS) (課題外・バーソナル・ココエーケーションの基礎) IA Interpersonal Communication for Problem Solving (I-CPS) (課題解決のためのイン・コミュニケーション) I B Compassionate Communication for Problem Solving (C-CPS) (課題解決のためのコンパショネット・コン) I C Leadership Communication for Problem Solving (C-CPS) (課題解決のためのコンパョニニケーション) I C Leadership Communication for Problem Solving (C-CPS) (課題解決のためのコンパョニニケーション) I C Leadership Communication for Problem Solving (L-CPS) (課題解決のためのリーダニーケーション) III A Management Communication for Comm
***************************************	ary PV	Sommunication for Problem Solving (CR-OPS) (課題解決のためのアンフリクト・レゾミュニケーションコエB Mediation Communication for Problem Solving (M-CPS) (課題解決のためのミー・コンションエ L Cadership Communication for Problem Solving (M-CPS) (課題解決のためのリーミュニケーション IIIA Management Communication for Problem Solving (M-CPS) (課題解決のためのリーミュニケーション) IIIA Solving (M-CPS) (課題解決のためのアンション IIIA Solving (M-CPS) (課題解決シャンフ) IIIB Skills Integration in Communication for Problem Solving (M-CPS) (課題解決のためのアンション IIIA Skills Integration in Communication for Problem Solving (SI-CPS) (課題解決のためのコンコ IIIC Communication for Problem Solving (SI-CPS) (課題解決のためのコンコ IIIC Communication for Problem Solving (SI-CPS) (関題解決のためのコンコ IIIC Communication for Problem Solving (SI-CPS) (関題解決のためのコンコ IIIC Communication for Problem Solving (SI-CPS) (SI	ANIL	en en	Communication for Problem Solving (CR-CPS) (課題解決のためのスーリンコュニケーションコエ B Mediation Communication for Problem Solving (M-CPS) (課題解ネスーションコ C Leadership Communication for Problem Solving (M-CPS) (課題解ネスーションコ C Leadership Communication for Problem Solving (M-CPS) (課題解ネスーション) IIIA Management Communication for Problem Solving (M-CPS) (課題解ネンション IIIB Skills Integration in Communication for Problem Solving (M-CPS) (課題解ネンション IIIB Skills Integration in Communication for Problem Solving (SI-CPS) (課題解決のためのコシュン IIII Integration in Communication for Problem Solving (SI-CPS) (課題解決のためのコシコIII C IIII IIII III III III III III III		on pu	Communitation (M-CPS) (課題解決のためのマネジメント・コミュニケーション) ⅢB Skills Integration in Communication for Problem Solving (SI-CPS) (課題解決のためのコミュニケーション) ⅢC
		Joel Weinberg 平成29年4月 Basics of Interpersonal Communication for Problem Solving (BI-OPS) (課題外・パーソナル・コミュニケ・ション・パーソナル・コーク・ション・リーション・リーション・リーション・リーション・リーション・リーション・リーション・リージー・リージョン・リージョン・リージョン・リージョン・リージョン・リージョン・リージョン・リージョン・リージョン・リージョン・リー・リージー・リー・リー・リー・リー・リー・リー・リー・リー・リー・リー・リー・リー・リー			Joel Weinberg 平成29年4月 Basics of Interpersonal Communication for Problem Solving (BI-CPS) (課24 アンナル・コミューケ・ション・ボーソナル・コミューゲージョン・ボーダー・ボーダー・ボーダー・ボーダー・ボーダー・ボーダー・ボーダー・ボーダ			Joel Weinberg 平成29年4月 Basics of Interpersonal Communication for Problem Solving (BI-CPS) (課題解決のためのリンター・パーソン・コミュー・ (BI-CPS) (課題解決のためのリンター・パーソン・コミュー・ (BI-CPS) (課題解決のためのイン・コミューケーション) IB Compassionate Communication for Problem Solving (G-CPS) (課題解決のためのリンパッコミューケーション) ICP (BI (関語解決のためのリンパッコミューケーション) ICP (BI

吉/1・	1		まけ.			古/1・		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	in Content-based Listening and Discussion (CTCBLD) (クリティカル・シンキ現の英語 連用)IIB Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CTCBLD) (クリティカル・シンキ現のでは、アイカル・シンキ現のでは、アイカル・シンキスのでは、アイカル・シンキスのでは、アイカル・シンキスのでは、アイカル・シンキスのでは、アイカル・シン・IIB Management Communication for Problem Solving (L-CPS) (課題解決のためのリーダニン・コン IIIB Skills Integration in Communication for Problem Solving (M-CPS) (課題解決のためのマネニケ・ション) IIIB Skills Integration in Communication for Problem Solving (ISI-CPS) (課題解決のためのマネニケ・ション) IIIB Skills Integration in Communication for Problem Solving (ISI-CPS) (課題解決のためのマネニケ・ション) IIIB Skills Integration in Communication for Problem Solving (ISI-CPS) (I業) (ISI-CPS) (I業) (ISI-CPS) (I業) (ISI-CPS) (I 業) (ISI-CPS) (I	兼任	講師	in Content-based Listening and Discussion (CT-DKLD) (クリティカを養う内で展現の英語では、アイカル・シンキ現の英語では、アイカル・シンキ現のでは、アイカル・シンキ現のでは、アイカル・シンキ現のでは、アイカル・シンキ現のでは、アイカーのでは、アイ	兼任	講師	icommunication Tor Problem Solving (M- CPS) (課題解決のた めのマネン・ショ Skills Integration in Communication for Problem Solving (SI-CPS) (課題解決 のためのコミュニケ - ション)ⅢC
兼任	講師	Richard King Tai 平成29年4月 Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運用) IA Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英重視の英重視の英重視の英重視の英重視の英重視の英重視の英重視の英重視の英			Richard King Tai 平成29年4月 Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視のの英語語 (CBED) (内容重視のの英語語 (CBED) (内容重視のの変更的のでは、CBED) (内容重視のの変更的では、CBED) (内容重視のの変更的では、CBED) (内容重視のの変更的では、CBED) (内容重視ので変更が、CBED) (内容重視ので変更が、CBED) (内容重視ので変更が、CBED) (内容重視のためのネーミュニケーション) IIA (CBS) (課題がよニーケーのにのmunication for Problem Solving (N-CPS) (課題がリカーン・コンコン IIA (CBS) (課題がよニーケーのにのでは、CBCPS) (課題がよニーケーのには、CBS) (課題が、CBCPS) (課題が、CDED) IIA (CBS) (課題が、CBCPS) (IBCPS) (I			Richard King Tai 平成29年4月  Content-based Listening and Discussion (OBLD) (内容重視の英語 (内容重視の英語 用) I A Content-based Listening and Discussion (OBLD) (内容重視の英語 用) I B Content-based Listening and Discussion (OBLD) (内容重視の英語 用) I B Content-based Listening and Discussion (OBLD) (内容重視の英語 用) I C Negotiation Communication for Problem Solving (N-CPS) (課題エーケーション・コンコーケーション・コーケーション・コーケーション・コーケーシー・コーケートローケートローケートローケートローケートローケートローケートローケート

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >			職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名				担当授業科目名	ı			担当授業科目名 Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT- CBLD) (クリティカ ル・シンキングカを 養う内容重視の英語 運用)IIA Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT- CBLD) (クリティカ ル・シンキングカを 養う内容重視の英語 運用)IIB Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT- CBLD) (クリティカ Listening and Discussion (CT- CBLD) (クリティカを 表う内容重視の英語 運用)IIC
兼任	講師	David Pinkney 平成29年4月  Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視 の英重視の の変重視の の変量視の を受しまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	兼	任	3萬節	David Pinkney 平成29年4月  Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英重視の英重視の変重視の変更を Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の変更視の変更視の変更視の変更視の変更視の変更視の変更視の変更視の変更視の変更		兼任	講師	David Pinkney 平成29年4月  Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英華地である。 Manage Time To Problem Solving (Manage Time Time To Problem Solving Manage Time To Problem Solving (Manage Time Time Time Time Time Time To Time Time Time Time Time Time Time Time
						大島 幸 平成29年4月 Content-based Reading (OBR) (内容 直視の英文誌解) IA Content-based Reading (OBR) (内容 宣視の英文誌解) IB Content-based Reading (OBR) (内容				大島 幸 平成29年4月 Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CSR) (内 客宣様の英文聴解に おけるクリティカ ル・シンキング) IA Critical Thinking in Content-based

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名	兼兼	任・担・任別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名
兼任	講師		**	<b>兼任</b>	講師	重視の英文版際)10 Content-based Writing (CBM) (内容 重視の英語作文)1A Content-based Writing (CBM) (内容 重視の英語作文) 1B Content-based Writing (CBM) (内容 重視の英語作文) 1C	兼任	講師	Resulting (いーンがい (P) 容量機の美文能解に おけるクリティカ ル・シンキング) IIB Critical Tinking in Content-based Reading (CI-OSR) (内 容量機の美文瞭解に おけるクリティカ ル・シンキング) IIC Content-based Process Writing (GBPM) (内容量機の プ ロセス英語作文) IIA Content-based Process Writing (CBPM) (内容量機の プ ロセス英語作文) IIC Content-based Process Writing (CBPM) (内容量機の プ ロセス英語作文) IIC Content-based Process Writing (CBPM) (内容量機の プ ロセス英語作文) IIC
兼任	講師	熊野 真理 平成30年4月 Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文法院解に おけるクリテング) II A Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文完成力) II A Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文テング) II B Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文テング) II C Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文テング) II C Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) II A Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) II C	兼	±€E	講師	熊野 真理 平成30年4月 Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CRR) (内 容重視の英文統解に おけるクリナング)IIA Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CRR) (内 容重視の英文元統解に おけるクリナング)IIB Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CRR) (内 容重視の英文テング)IIB Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内 容重視の英文テング)IIC CRPW (内容重視のブレ・シンキング)IIC COntent-based Process Writing (CBPW) (内容重視のブロセス英語作文) IIC	兼任	講師	熊野 真理 平成30年4月 Critical Thinking in Content-based Reading (CT-OBR) (内容重視の英文誘解に おけるクリティグ) II A Critical Thinking in Content-based Reading (CT-OBR) (内容重視の英文誘解に おけるクリティが II B Critical Thinking in Content-based Reading (CT-OBR) (内容重視の英文法誘解に おけるクリティグ) II B Critical Thinking in Content-based Reading (CT-OBR) (内容重視のグランボング) II C Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) II C Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) II B Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) II C Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) II C
兼任	講師	T黒 真理子 平成30年4月  Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文法院列ル・シンキング) II A Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文法院列 II Reading (CT-CBR) (内容重視の英文法所 II B (Tritical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文法の計算 in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英ティガ) II C	兼	et任	講師	石黒 真理子 平成30年4月  Critical Thinking in Content-based Reading (CT-GBR) (内 容重視の英文統解に おけるクリティグ) II A Critical Thinking in Content-based Reading (CT-GBR) (内 容重視の文テング) II B Critical Thinking in Content-based Reading (CT-GBR) (内 容重視の英テング) II C でけには Thinking in Content-based Reading (エラストリー・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・			石黒 真理子 平成30年4月  Critical Thinking in Content-based (内 Reading (CT-OBR) (内 容重視の英文誌解に おけるクリティグ) II A Critical Thinking in Content-based Reading (CT-OBR) (内 容重視の英文誌解に おけるクリティカ II B Critical Thinking in Content-based Reading (CT-OBR) (内 容重視の英文誌解に おけるクリティカ II C Content-based Process Writing ((BPM) (内容重視のプ II A CONTENT-based Process Writing (CBPM) (内容重視のプ II C CONTENT-based Process Writing (CBPM) (P CONTENT-based Process Writing (CBPM) (P CREST

専任・ 兼担・		氏 名 (年 齢)	専任・ 兼担・		氏 名 (年 齢)	専任・ 兼担・		氏 名 (年 齢)
兼任 の別	職名	<就任(予定)年月 >	兼任 の別	職名	<就任(予定)年月	兼任 の別	職名	<就任(予定)年月
		担当授業科目名 井上 恵子			担当授業科目名			担当授業科目名 井上 恵子
兼任	講師	TROOF44月  Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英ティカル・シンキンがには Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文ティカル・シンキング) IB (CTICICAL THINKING IN CONTENT THINKI	兼任	講師	TEGOVE4月  Critical Thinking in Content-based Reading (CT-GBR) (内容重視の英ティカ) II A Critical Thinking in Content-based Reading (CT-GBR) (内容重視の英文ティグ) II Critical Thinking in Content-based Reading (CT-GBR) (内容重視の英文ティグ) II Critical Thinking in Content-based Reading (CT-GBR) (内容重視のグラティグ) II C Thinking in Content-based Reading (CT-GBR) (内容重視のグラティグ) II C	兼任	講師	平成30年4月  Critical Thinking in Content-based Reading (CT-OBR) (内容重視の英文法解に あいっという IT A Critical Thinking in Content-based Reading (CT-OBR) (内容重視の英文法解に おけるクリティブ II B Critical Thinking in Content-based Reading (CT-OBR) (内容重視の英文法所 II C CONTENT II C C C C C C C C C C C C C C C C C C
兼任	講師	Text	兼任	講師	Text	兼任	講師	国黒 一生 平成30年4月  Critical Thinking in Content-based Reading (CT-OBR) (内容重視の支速機能に おけるクリティカ ル・シンキング) II A Critical Thinking in Content-based Reading (CT-OBR) (内容重視の英文統解に おけるクリティカ II B Critical Thinking in Content-based Reading (CT-OBR) (内容重視の英文統解に おけるクリティカ II B Critical Thinking in Content-based Reading (CT-OBR) (内容重視の英文統解に おけるクリティカ II C Content-based Process Writing (CBPM) (内容重視のプロセス英語作文) II A Content-based Process Writing (CBPM) (内容重視のプロセス英語作文) II B Content-based Process Writing (CBPM) (内容重視のプロセス英語作文) II C Content-based Process Writing (CBPM) (内容重視のプロセス英語作文) II C Content-based Process Writing (CBPM) (内容重視のプロセス英語作文) II C Content-based Process Writing (CBPM) (内容重視のプロセス英語作文) III C C C C C C C C C C C C C C C C C
兼任	講師	執行 智子 平成30年4月  Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英テナク) II A Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文テング) II B Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文テング) II B Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視のグラティグ) II C CRIC (CBPM) (内容重視のブラティグ) II C Content-based Process Writing (CBPM) (内語作文) II C CONTENT-BASED Process Writing (CBPM) (内語作文) II C CONTENT-BASED II C CONTENT-BASED II C CONTENT-BASED II C CRPM) (内語作文) II C CRPM) (D CRPM) (	兼任	講師	執行 智子 平成30年4月 Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内 容重視の英文ナポカル・シューング) IIA Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内 容重視の英文ナテング) IIB Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内 容重視の英文ナテング) IB Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内 容重視のグ文ティグ) IIC Content-based Process Writing (CBPW) (内蓄重文) IIA Content-based Process Writing (CBPW) (内語管文) IIA Content-based Process Writing (CBPW) (内語管文) IIA Content-based Process Writing (CBPW) (内語で文) IIA Content-based Process Writing (CBPW) (内語で文) IIA Content-based Process Writing (CBPW) (内語で文) IIA Content-based Process Writing (CBPW) (内語で文) IIA	兼任	講師	執行 智子 平成30年4月  Critical Thinking in Content-based Reading (CT-OBR) (内 容重規の英文誘解に おけるクリティカ ル・シンキング) II A Critical Thinking in Content-based Reading (CT-OBR) (内 容重視の英文宗解り II B Critical Thinking in Content-based Reading (CT-OBR) (内 容重視の方文宗解り II C Content-based Process Writing (CBPW) (内容音性のプロセス英語作文 II C CONTENT-based Process Writing (CBPW) (内容音性のプロセス英語作文 II C CONTENT-BASED PROCESS Writing (CBPW) (内容音性のプロセス英語作文 II C C C C C C C C C C C C C C C C C C

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名
兼任	講師	町田 晶子 平成30年4月 Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IIA Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IIB Content-based Process Writing (CBPW) (大学で表現のプロセス英語作文) IIC	兼任	講師	町田 晶子 平成30年4月 Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IIA Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IIB Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IIC	兼任	講師	町田 晶子 平成30年4月 Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス 英語作文) IIA Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス 英語作文) IIB Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス 英語作文) IIC Critical Thinking in Content-based Reading (第7-CBR) (内容重視の英文映解におけるクリテング) IIA Critical Thinking in Content-based Reading (第7-CBR) (内容重視の英文映解におけるクリテング) IIC Critical Thinking in Content-based (内容可以表現的文文映解におけるクリテング) IIC Critical Thinking in Content-based (内容可以表現的文文映解によけるクリテング) IIC Critical Thinking in Content-based Reading (FT-CBR) (内容可以表现的文文文列)IIC Critical Thinking in Content-based Reading (FT-CBR) (内容可以表现的文文列)IIC Critical Thinking in Content-based Reading (FT-CBR) (内容可以表现的文列)IIC Critical Thinking in Content-based (PT-CBR) (PT-CBR
兼任	講師	小坂 洋子 平成30年4月 Content-based Process Writing (BBPM) (内容重視のプロセス英語作文) IIA Content-based Process Writing (GBPM) (内容重視のプロセス英語作文) IIB Content-based Process Writing (GBPM) (内容重視のプロセス英語作文) IIC	兼任	講師	小坂 洋子 平成30年4月 Content-based Process Writing (CBPM) (内容重視のプロセス英語作文) IIA Content-based Process Writing (CBPM) (内容重視のプロセス英語作文) IIB Content-based Process Writing (CBPM) (内容重視のプロセス英語作文) IIC			
兼任	講師	Clarence Ray Bussinger 平成30年4月 でritical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキ現の英語 運用) IIA Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキ現の (DI) (クリティカル・シン容面 (DI) (クリティカル・シン容面 (DI) (クリティカル・シン容面 (DI) (クリティカル・シン容面 (DI) (クリティカを) IIB (DI) (クリティカを) IIB (DI) (クリティカを) IIB (DI) (クリティカを) IIB (DI) (クリティカを) III (DI) (フリティカを) III (DI) (フリティカを) III (DI) (DI) (フリティカを) III (DI) (DI) (DI) (DI) (DI) (DI) (DI)	兼任	講師	Clarence Ray Bussinger 平成29年4月  Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキ現の表示の (CT-CBLD) (クリティカル・シンキ現の (CT-CBLD) (クリティカル・シンキ現の (CT-CBLD) (クリティカル・シンを重用) II の (クリティカル・シンを重加) II の (フリティカル・シンを変重 (CT-CBLD) (クリティカル・シンを変重 (CT-CBLD) (クリティカル・シンを変重 (CT-CBLD) (クリティカル・シンを変重 (CT-CBLD) (クリティカを重視の (CT-CBLD) (クリティカを重視の (CT-CBLD) (クリティカを重視の (CT-CBLD) (クリティカル・シンを変重 (CT-CBLD) (クリティカを重視の (CBLD) (内容重視の英語運用) II C (COntent-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運用) II C (COntent-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運用) II C (CONTENT-CBLD) (内容重視の英語運用) II C (CT-CBLD) (	兼任	講師	Clarence Ray Bussinger 平成29年4月  Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クライナカを養力の英語 (CT-CBLD) (クリングカを養力のでは、アイナカル・シンキュカル・シンキュカル・シンキュカル・シンキュカル・シンキュカル・シン容話では、CT-CBLD) (クリング英語では、CT-CBLD) (クリング英語では、CT-CBLD) (クリン容重の CT-には、CBLD) (クリン容重の CT-には、CBLD) (クリン字重力のでは、CT-CBLD) (クリン字重力の方式を表示のでは、CT-CBLD) (クリン字重力の方式を表示するえの方式を表示するええるの方式を表示するええるの方式を表示するるえるの方式を表示するる方式を表示するる。

専任・		氏 名		専任・		氏 名	専任・		氏 名
兼担・ 兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月 >	3	兼担・ 兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月 >	兼担・ 兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名				担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	Andy Maggs 平成30年4月 Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT- CBLD) (クリティカル・シンキ重視の 変う内を整っています。 でritical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT- CBLD) (クリティカル・シン容重視の でritical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT- CBLD) (クリティカル・シン容重視の でritical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT- CBLD) (クリティカを 表う内容重視のですった。 University (CT- CBLD) (クリティカを 表う内容重視のでする に対するでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	177	兼任	講師	Andy Maggs 平成30年4月 Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT- CBLD) (クリティカル・シンキ重視の 運用) IIA Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT- CBLD) (クナリティカル・シン容重視の 運用) IIB でittical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT- CBLD) (クナリディカ 連用) IIB にすいには、15tening and Discussion (CT- CBLD) (クナリディカを 表のではには、15tening and Discussion (CT- CBLD) (クナングブを ではには、15tening and Discussion (CT- CBLD) (クナングブを で表し、15tening and Discussion (CT- CBLD) (クナングで表し、15tening and Discussion (CT- CBLD) (OT- CBLD) (OT- CBL			
兼任	講師	村野 緑 平成31年4月 Basics of Academic Writing (B-AW)(アカデョック基礎) 皿A Research for Academic Writing (R-AW)(アカデミック・ライティングの Academic Writing (R-AW)(アカデミック・ライティングの ためのリサーチ) 皿B Problem-solution in Academic Writing (PS-AW) (アカデシグにおける課題解決論 文) 皿C	1955	兼任	講師	村野 緑 平成31年4月 Basics of Academic Writing (B-AW)(アカデミック・ライティングの基礎) 皿A Research for Academic Writing (R-AW)(アカデミック・ライティングのためのリサーチ) 皿B Problem-solution in Academic Writing (PS-AW)(アカデミック・ライティアナングによける課題解決論 文) 皿C	兼任	講師	村野 縁 中成31年4月 Basics of Academic Writing (B-AM) (アカデミック・ライライングのを基礎) ⅢA Research for Academic Writing (R-AW) (アカデミック・ライティングのためのリサーチ) ⅢB Problem-solution in Academic Writing (PS-AW) (PS-AW) (PS-AW) (PS-AW) (ES-AW) (
							兼任	講師	Chester Jay Proshan 平成30年4月  Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカを養う内容重視の英語 運用) IIA Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキリグカを養う内容重視の英語 運用) IIB Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキングカを養う内容重視の交話 IIA Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキングカを養う内容重視の交話 IIC CBLD) (クリティカル・シンキカアを養う内容 IIC CBLD) (クリティカル・シンチカアを養活用) IIC
							兼任	講師	Michele Joy Joel 平成30年4月  Critical Thinking in Content-based Listening and Disoussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキングカを養う内容重視の英語 運用) IIA Critical Thinking in Content-based Listening and Disoussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキングカを養う内容更多的 IIB Critical Thinking in Content-based Listening and Disoussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキングカを養う内容更加 IIB Critical Thinking in Content-based Listening and Disoussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンオングカを養う内容重視の英語 IIC IIIA IIIA IIIA IIIA IIIA IIIA IIIA

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
						兼任	講師	Carey Mamiko Makata 平成30年4月  Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキ型グラ大変語 運用) II A Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキ重視の英語運用) II B Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキ重視の英語ではCritical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキブグカを養う内容にフィカル・シンキブグカを養う内容に関係して、CT-CBLD) (クリティカル・シン字質の英語
兼任	講師	伊藤 幸子	兼任	講師	伊藤 幸子 平成31年4月 Economics-oriented Advanced Reading (EO-AR) (経済的課題 の上級英文誌解) IIIB Politics-oriented Advanced Reading (LO-AR) (法的課題の上級英文誌解) IIIB Politics-oriented Advanced Reading (DO-AR) (政治的課題の上級英文誌解) IIIC Basics of Academic Writing (PO-AR) (アカデミック・ライ ティングの基礎) IIIC Research for Academic Writing (R-AW) (アフィンチ) IIIB Problem-solution in Academic Writing (PS-AW) (アフィンチ) IIIB Problem-solution in Academic Writing (PS-AW) (アフィンチ) IIIB Problem-solution in Academic Writing (PS-AW) (アフィンチ) IIIC おける課題解決論	兼任	講師	伊藤 幸子 平成31年4月 Economics-oriented Advanced Reading (EO-AR) (経済的課題 の上級英文誌解) ⅢA Law-oriented Advanced Reading (LO-AR) (法的課題の 上級英文誌解) ⅢB Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政治的課題の 上級英文誌解) ⅢC Basics of Academic Writing (B-AW)(アカデミック・ライティングの基礎) ⅢA Research for Academic Writing (R-AW)(アカデミック・ライティングのある他) 「アカデミック・ライティングの基礎」  Problem-solution in Academic Writing (PS-AW) (アカデミック・ライティングにまからご課題解決論 文) ⅢC
兼任	講師	Peter John Collins 平成31年4月 Economics-oriented Advanced Reading (EO-AR) (経済的) IIII Advanced Reading (EO-AR) (法統解) IIIB Politics-oriented Advanced Reading (LO-AR) (法的課題の上級英文統解) IIIB Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政統部解) IIIC Basics of Academic Writing (PO-AR) (アカデミックを受ける (R-AW) (アカデミックのよるを呼ばないます。 IIIC Research for Academic Writing (R-AW) (アフィンチ) IIIP Problem-solution in Academic Writing (PS-AW) (アフィアナイデングのまでは、アフィアナイデンがのよる。 IIIC R-M) (アフィアナイデンがのようないます。 IIIC R-M) (アフィアナイデンがのようないます。 IIIC R-M) (アフィアナイデンがのようないます。 IIIC R-M) (アフィアナイデンがのようないます。 IIIC R-M) (アフィアナイデンが高います。 IIIC R-M) (アフィアナイド・アン・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア	兼任	講師	Peter John Collins 平成31年4月 Economics-oriented Advanced Reading (EO-AR) (経済的) IIIA Law-oriented Advanced Reading (LO-AR) (法的課題の上級英文法院解) IIIB Politics-oriented Advanced Reading (LO-AR) (政治的課題の上級英文法院解) IIIC Basics of Academic Writing (PO-AR) (政治的課題の上級英文の表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表	兼任	講師	Peter John Collins 平成31年4月 Economics-oriented Advanced Reading (EO-AR) (経済的課題 の上級英文誌解) IIIA Law-oriented Advanced Reading (LO-AR) (法的課題の上級英文誌解) IIIB Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政治的課題の上級英文誌解) IIIC Basics of Academic Writing (B-AW) (アカデミッグ・基礎) IIIA Research for Academic Writing (R-AW) (アカイティングの基礎) IIIA Research for Academic Writing (PS-AW) (アカデミック・ライア・インチンのリカー
兼任	講師	Geoffrey Pierce 平成31年4月 Basics of Content- based Presentation Skills (B-CBPS) (内 容重視のプレゼン テーション力養成の 基礎) 皿A Delivering Competency in Content-based Presentation Skills (DC-CBPS) (内容重視 のプレゼンテーショ ン力養成) 皿B Interactive	兼任	講師	Geoffrey Pierce 平成31年4月 Basics of Content- based Presentation Skills (B-GBPS) (内 容重視のプレゼシ テーション力養成の 基礎) 皿A Delivering Competency in Content-based Presentation Skills (OC-GBPS) (内容重視 のプレゼンテーショ ン力養成) 皿B Interactive	兼任	講師	Geoffrey Pierce 平成31年4月 Basics of Content- based Presentation Skills (BOBPS) (内 容重視のプレゼン テーション力養成の 基礎) ⅢA Delivering Competency in Content-based Presentation Skills (DC-GBPS) (内容重視 のプレゼンテーショ ンカ養成) ⅢB Interactive

専任・	Ī	氏 名	1 1	専任・	1	L 20	1 1	専任・		E 20
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >		兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >		兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名
		Competency ITI Content-based Presentation Skills (IC-CPS) (内容重視 のブレゼンテーショ ン力養成) ⅢC				Competency In Content-based Presentation Skills (IC-CPS) (内容重視 のプレゼンテーショ ン力養成) ⅢC				Competency III Content-based Presentation Skills (IC-CPS) (内容重視 のプレゼンテーショ ン力養成) ⅢC
兼任	講師	峰松 和子 平成31年4月 Economics-oriented Advanced Reading (EO-AR) (経済的課題 の上級英文誘解) IIIA Law-oriented Advanced Reading (LO-AR) (法的課題の 上級英文誘解) IIIB Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政治的課題 の上級英文誘解) IIIG Basics of Academic Writing (B-AW)(ア カデミックク基 ティングの基 Research for ティングのナーチーチ) IIIR (R-AW)(アカデングの ためのリサーチ・ジー をめのリサーチ・ジー アのとはでいます。 (PS-AW)(アカデングに おける課題 (PS-AW)(アカデングに おける課題 (PS-AW)(アカデングに おける課題 (PS-AW)(アカデングに おける課題		兼任	講師	峰松 和子 平成31年4月 Economics-oriented Advanced Reading (EO-AR) (経済的課題 の上級英文誘解) IIIB Law-oriented Advanced Reading (LO-AR) (法的課題の 上級英文誘解) IIIB Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政治的課題 の上級英文誘解) IIIC Writing (B-AW)(ア サンブの基礎) IIIC Writing (R-AW)(アカデングの基のリサーチングの表のリサーチングのオーターのよりで、アカデミックをのリナーチーチンが (Research for アカデミックナーチーチンが ためのリサーチーチン IIIB Problem-solution in Academic Writing (PS-AW)(アカデン対に まり、IIIC		兼任	講師	峰松 和子 平成31年4月 Economics-oriented Advanced Reading の上級英文読解)ⅢA Law-oriented Advanced Reading (LO-AR) (法的)課題の 上級英文読解)ⅢB Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政治的課題の 上級英文読解) ⅢB Basics of Academic Writing (B-AW) (ア カテミック・ライ ティングの基礎) ⅢA Research for Academic Writing (R-AW) (アカデングの ためのリサーチ) ⅢB Problem-solution in Academic Writing (PS-AW) (アカデングに おける課題解決論
兼任	满色师	高岡 幸世 中成31年4月 Economics-oriented Advanced Reading (EO-AR) (経済的課題の一般英文法解》 IIIB Politics-oriented Advanced Reading (LO-AR) (英次法解》 IIIB Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政治的課題の上級英文法解》 IIIB Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政治的課題の上級英文法解》 IIIB Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (東子の上級方的課題の一般な一般である。 Politics-oriented Advanced Reading (Po-AW) (アカデミッグの基本のリサードのリーカーングの上のカートのリートのリートのリートのリートのリートのリートのリートのリートのリートのリ				高岡 幸世		兼任	講師	高岡 幸世 平成31年4月 Economics-oriented Advanced Reading (EO-AR) (経済的課題の上級英文法解解) ⅢA Law-oriented Advanced Reading (LO-AR) (法的課題の 上級英文法解解) ⅢB Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政治的課題の Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政治的課題の Basics of Academic Writing (B-W) (アカデングの基礎) Research for Academic Writing (R-AW) (アカデングの ためのリサーアらし細一のリナーターカデングの ためのリサーアらし細一のリナーターカデングの ためのリサーアは「S-AW) (アカデンダの ためのリサーアは「S-AW) (アカデンダの ためのリサーアは「S-AW) (アカデンダの ためのリサーアは「S-AW) (アカデンダー 大きのよりには、「S-AW) (アカデンダー 「S-AW) (アカデンダー 大きのよりによりによりによりによります。 「S-AW) (アカデンダー 「S-AW) (アカデンダー 「S-A
兼任	講師	Patricia Yarrow 平成31年4月 Leadership Communication for Problem Solving (L-CPS) (課題解決のためのリーダーション) IIIA Management CPS) (課題解決のためのマネジメント・コミュニケーション) IIIB Skills Integration in Communication for Problem Solving (SI-CPS) (課題解決のためのマネジメントコミュニケーション) IIIB Skills Integration in Communication for Problem Solving (SI-CPS) (課題解決のためのためのコミュニケーション) IIIC		兼任	講師	Patricia Yarrow 平成31年4月 Leadership Communication for Problem Solving (L-CPS) (課題解決のためのリーダーション) IIIA Management Communication for Problem Solving (M-CPS) (課題解決のためのマネジメント・コミュニケーション) IIIB Skills Integration in Communication for Problem Solving (SI-CPS) (課題解決のためのマネション) IIIB Skills Integration in Communication for Problem Solving (SI-CPS) (課題重クトション) IIIC		兼任	講師	Patricia Yarrow 中成31年4月 Leadership Communication for Problem Solving (L-CPS) (課題解決のためのリーダーション) ⅢA Management Communication for Problem Solving (M-CPS) (課題解決のためのマネジメント・コミュニケーション IIB Skills Integration in Communication for Problem Solving (SI-CPS) (課題解決のためのマネジメント・コミュニケーション) IIB Skills Integration in Communication for Problem Solving (SI-CPS) (課題解決のためのことのフェュニケーション) IIIC

専任・			また.			古/1		
等担・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		北島 裕子 平成31年4月			北島 裕子 平成31年4月			北島 裕子 平成31年4月
兼任	講師	Economics-oriented Advanced Reading (EC-AR) (絵評的課題 の上級英文読解) ⅢA Law-oriented Advanced Reading (LO-AR) (法的課題の 上級英文読解) ⅢB Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政治的課題 の上級英文読解) ⅢC	兼任	講師	Economics-oriented Advanced Reading (EO-AR) (経済的課題 の上級英文誘解) IIIA Law-oriented Advanced Reading (LO-AR) (法的課題の 上級英文誘解) IIIB Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政治的課題 の上級英文誘解) IIIC	兼任	講師	Economics-oriented Advanced Reading (EO-AR) (経済的課題 の上級英文誘解) ⅢA Law-oriented Advanced Reading (LO-AR) (法的課題の 上級英文誘解) ⅢB Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政治的課題 の上級英文誘解) ⅢC
		Robert Spivak			Robert Spivak			Robert Spivak
兼任	講師	平成31年4月 Basics of Content-based Presentation Skills (B-CBPS) (内容重視のブレゼシカ養成の基基礎) ⅢA Delivering Competency in Content-based Presentation Skills (DC-CBPS) (内容重視のカカ養成) ⅢB Interactive Competency in Content-based Presentation Skills (IC-CPS) (内容重視のプレゼシテーションカ養成) ⅢB Interactive Competency in Content-based Presentation Skills (IC-CPS) (内容重視のプレゼシテーションカ養成) ⅢC	兼任	調節	平成31年4月 Basics of Content-based Presentation Skills(B-CBPS) (内容重視のプレゼンテーション推成の Belivering Competency in Content-based Presentation Skills (DC-CBPS) (内容ションカ養成) ⅢB Interactive Competency in Content-based Presentation Skills (IC-CPS) (内容ションカ養成) ⅢB OTレゼンテーションカ養成) ⅢC OTUTENT-DASED (IC-CPS) (内容ションカ養成) ⅢC OTUTENT-DASED (IC-CPS) (内容ションカース・IC-CPS) (内容・IC-CPS) (内容・IC-C			平成30年4月 Basics of Content-based Presentation Skills (B-CBPS) (内容重視のブレ連板の Delivering Competency in Content-based Presentation Skills (DC-CBPS) (内容ションカ菱成) 皿B Interactive Competency in Content-based Presentation Skills (DC-CBPS) (内容ションカ菱成) 皿B Interactive Competency in Content-based Presentation Skills (IC-CPS) (内容ションカ透成) 皿B Oプレゼンテロ (DPS) (限 整原法のエリカチでは、DT を表現のためのオーミュスト・ション) II Complied Resolving (N-CPS) (駅間解決のためのオーミュスト・ション II B Mediation Communication for Problem Solving (R-CPS) (駅間がよりフリクト・レンコエト・ション) II B Mediation Communication for Problem Solving (N-CPS) (駅間がよりフリート・ション II B Mediation Communication for Problem Solving (N-CPS) (駅間がよりアラン・コエB Mediation Communication for Problem Solving (N-CPS) (駅間がよりアラン) II C
兼任	講師	荒田(下川)映子 平成29年4月 会計(演習付講義)	兼任	講師	荒田(下川)映子 平成29年4月 会計(演習付講義)			
		福原明雄			福原明雄			福原 明雄
兼任	講師	平成29年4月 分配のポリティクス 共生社会と法	兼任	講師	平成29年4月 分配のポリティクス 共生社会と法	兼任	講師	平成29年4月 分配のポリティクス 共生社会と法
		黒田 順子 平成30年4月			黒田 順子 平成29年4月			黒田 順子 <b>平成29年4月</b>
兼任	講師	平和構築	兼任	講師	平和構築 International Training Course A	兼任	講師	平和構築 International Training Course A
兼任	講師	金 敬黙 平成30年4月 プロパガンダとアド ボカシー	兼任	講師	金 敬黙 平成30年4月 プロパガンダとアド ボカシー	兼任	講師	金 敬黙 平成30年4月 プロパガンダとアド ボカシー
兼任	講師	山田 朋美 平成30年4月 文化交流論	兼任	講師	山田 朋美 平成30年4月 文化交流論	兼任	講師	山田 朋美 平成30年4月 文化交流論
		西村 善嗣			西村 善嗣			西村 善嗣
兼任	講師	平成31年4月 法制度設計	兼任	講師	平成31年4月 法制度設計	兼任	講師	平成31年4月 法制度設計
兼任	講師	眞田 康弘 平成31年4月	兼任	講師	真田 康弘 平成31年4月	兼任	講師	眞田 康弘 平成31年4月
	11.7H*II	環境政策論	2115 mile	HLZ HILI	環境政策論	-11- take	HCZ HIN	環境政策論
			•					

厚任・ 東担・ 東任 D別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名
<b>東任</b>	講師	館 健太郎 平成29年4月
		企業の社会的責任
<b>東任</b>	講師	中川 まり 平成29年4月 
		加藤 拓
<b>東任</b>	講師	平成30年4月 マーケティング戦略
		中村 豪
兼任	講師	平成30年4月 イノベーションと社 会
		澤田 悠紀
<b>兼任</b>	講師	平成31年4月 ————————————————————————————————————
		雨森 拓児
兼任	講師	平成30年4月
		村上 文洋 平成31年4月
<b>東任</b>	講師	スマートコミュニ
		ティ論 渡辺 克也
<b>東任</b>	講師	平成31年4月
		情報通信政策 宮澤 一洋
<b>東任</b>	講師	平成31年4月
		経営情報システム
東任	講師	花澤 隆 平成31年4月
		技術経営論
<b>東任</b>	講師	福重 秀文 平成31年4月
		健康医療情報システ ム
		村木 厚子 平成29年4月
<b>東任</b>	講師	社会実践の諸相女性のキャリア開発
		原 由利子 平成29年4月
<b>東任</b>	講師	コミュニティスタ
		泉田 信行 平成30年4月
<b>東任</b>	講師	少子高齢化の進展と 社会保障の持続可能
		性 岩田 美香
<b>東任</b>	講師	平成30年4月 子どもの貧困と教育 格差
		工藤 恵子
兼任	講師	平成31年4月 ソーシャル・ヘル ス・マネジメント
		中村 明雄 平成30年4月
<b>兼任</b>	講師	法と公共政策
		室伏 康志 平成30年4月
<b>兼任</b>	講師	経済活動のための法
		小宮 京 平成30年4月
<b>兼任</b>	講師	平成30年4月 ————————————————————————————————————
		山口 みどり
<b>兼任</b>	講師	平成30年4月
		<b>ガ八柱 古</b> 調

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名
兼任	講師	舘 健太郎 平成29年4月
NK III	ur7e-r	企業の社会的責任
兼任	講師	中川 まり 平成29年4月
		雇用経済論
兼任	講師	加藤 拓 平成30年4月
		マーケティング戦略
兼任	講師	中村 豪 平成30年4月 イノベーションと社
		会
兼任	講師	澤田 悠紀 平成31年4月 知的財産法
		雨森 拓児
兼任	講師	平成30年4月
		メディア産業論 村上 文洋
兼任	講師	平成31年4月 スマートコミュニ
** 1-	=# 6T	ティ論 渡辺 克也 平成31年4月
兼任	講師	情報通信政策
兼任	講師	宮澤 一洋 平成31年4月
WIT.	Di-2 Dily	経営情報システム
兼任	講師	花澤 隆 平成31年4月
7.114 1.122		技術経営論
* /T	# AT	福重 秀文 平成31年4月
兼任	講師	健康医療情報システム
兼任	講師	村木 厚子 平成29年4月
		社会実践の諸相 女性のキャリア開発
兼任	講師	原 由利子 平成29年4月
		コミュニティスタ ディ
兼任	講師	泉田 信行 平成30年4月 少子高齢化の進展と
		社会保障の持続可能 性
兼任	講師	岩田 美香 平成30年4月 子どもの貧困と教育
		格差 工藤 恵子
兼任	講師	平成31年4月 ソーシャル・ヘル ス・マネジメント
兼任	講師	中村 明雄 平成30年4月
**	마무마	法と公共政策
兼任	講師	室伏 康志 平成30年4月
		経済活動のための法
兼任	講師	小宮 京 平成30年4月
		日本政治史
兼任	講師	山口 みどり 平成30年4月
	ĺ	現代経営論

専任・ 兼担・ 兼任 の別 職名	年月
担当授業科目	名
舘 健太郎 平成29年4月	] 
企業の社会的	責任
中川 まり 平成29年4月	J <b>∃</b>
雇用経済論	À
加藤 拓 平成30年4月	1
マーケティング	が戦略
兼任 講師 中村 豪 平成30年4月 イノベーション	
会	
港任 講師 澤田 悠彩平成31年4月	1
知的財産法	
兼任     講師       水イ     本成30年4月       メディア産業	
兼任 講師 平成31年4月 スマートコミ	1
ティ論 渡辺 克也	1
兼任 講師 平成31年45 情報通信政	
宮澤 一洋平成31年4月	# 
兼任 講師 経営情報シス	テム
花澤 隆 平成31年4月	1
技術経営論	Ĥ
福重 秀文 平成31年4月	
健康医療情報シム	ノステ
村木 厚子 平成29年4月	
社会実践の語 女性のキャリア	皆相 7開発
原 由利子 平成29年4) コミュニティ	₹
ディ 泉田 信行	Ţ
来任 講師 平成30年4月 少子高齢化の追社会保障の持続	見を とり とり とり こうしん しゅうしん しゅん しゅん しゅん しゅん しゅん しゅん しゅん しゅん しゅん し
性	
#任 講師 岩田 美香 平成30年4月	₹
子どもの貧困と 格差 工藤 恵子	
兼任 講師 平成31年4月 ソーシャル・	ヘル
ス・マネジメ 中村 明체	ŧ
兼任 講師 平成30年4月 法と公共政	
室伏 康志 平成30年4月	
兼任 講師 経済活動のため	
小宮 京 平成30年4月	₹
	2
日本政治史	_
日本政治9 山口 みど 平成30年4)	IJ

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	萱場 豊 平成31年4月	兼任	講師	萱場 豊 平成31年4月	兼任	講師	萱場 豊 平成31年4月
		行動経済分析			行動経済分析			行動経済分析
兼任	講師	森嶌(松尾)由紀子 平成30年4月	兼任	講師	森嶌(松尾)由紀子 平成30年4月	兼任	講師	森嶌(松尾)由紀子 平成30年4月
	1172	質的調査法			質的調査法			質的調査法
** 1-	5# AT	原田 奈美 平成30年4月	** /-	# 6T	原田 奈美 平成30年4月	** 1-4	# AT	原田 奈美 平成30年4月
兼任	講師	プロジェクト・マネ ジメント	兼任	講師	プロジェクト・マネ ジメント	兼任	講師	プロジェクト・マネ ジメント
***	****	和田 かず美 平成31年4月	** **	5#±4	和田 かず美 平成31年4月	24.4-	5# 4T	和田 かず美 平成31年4月
兼任	講師	多変量解析と公的統 計	兼任	講師	多変量解析と公的統 計	兼任	講師	多変量解析と公的統 計
	***	梶山(斉藤) 朋子 平成31年4月	** **	*** 4	梶山(斉藤) 朋子 平成31年4月	24.1-	*** 4	梶山(斉藤) 朋子 平成31年4月
兼任	講師	アプリケーション開 発	兼任	講師	アプリケーション開 発	兼任	講師	アプリケーション開 発
		鷹田 佳典 平成30年4月			鷹田 佳典 平成30年4月			鷹田 佳典 平成30年4月
兼任	講師	社会学概論 家族社会学	兼任	講師	社会学概論 家族社会学	兼任	講師	社会学概論 家族社会学
		西村 幸満 平成30年4月			西村 幸満 平成30年4月			西村 幸満 平成30年4月
兼任	講師	社会階層論	兼任	講師	社会階層論	兼任	講師	社会階層論
* /T	講師	松下 優一 平成31年4月	* /T	=# AT	松下 優一 平成31年4月	* <i>I</i> 7	## 6T	松下 優一 平成31年4月
兼任	語即	現代社会論	兼任	講師	現代社会論	兼任	講師	現代社会論
兼任	講師	圷 洋一 平成31年4月	兼任	講師	圷 洋一 平成31年4月	兼任	講師	圷 洋一 平成31年4月
	1177-1	福祉国家論		117-1	福祉国家論			福祉国家論
* /T	## 6T	細川 雄一郎 平成29年4月	* /r	=# AT	細川 雄一郎 平成29年4月	* /	# 6T	細川 雄一郎 平成29年4月
兼任	講師	クリティカル・シン キング	兼任	講師	クリティカル・シン キング	兼任	講師	クリティカル・シン キング
<b>本</b> 力	## óx	高尾 賢一郎 平成29年4月	兼任	## óx	高尾 賢一郎 平成29年4月	<b>※</b> た	## 6T	高尾 賢一郎 平成29年4月
兼任	講師	世界の宗教と社会	兼往	講師	世界の宗教と社会	兼任	講師	世界の宗教と社会
** 1-		折田 明子 平成29年4月			折田 明子 平成29年4月	****		折田 明子 平成29年4月
兼任	講師	ソーシャル・デザイ ン論	兼任	講師	ソーシャル・デザイ ン論	兼任	講師	ソーシャル・デザイ ン論
兼任	講師	佐久間 寛 平成29年4月	兼任	講師	佐久間 寛 平成29年4月	兼任	講師	佐久間 寛 平成29年4月
Inde	HIZHIP	経済人類学	AK III	HCZ HILL	経済人類学	N. IT	m7HY	経済人類学
兼任	講師	野澤 聡 平成29年4月	兼任	講師	野澤 聡 平成29年4月	兼任	講師	野澤 聡 平成29年4月
		科学技術と文明			科学技術と文明			科学技術と文明
兼任	講師	小阪 裕城 平成29年4月	兼任	講師	小阪 裕城 平成29年4月			
		歴史入門 大原(磯村) 悦子			歴史入門 大原(磯村) 悦子			大原(磯村) 悦子
		・ 平成29年4月 キャリア入門A			平成29年4月 キャリア入門A			・ 平成29年4月 キャリア入門A
兼任	講師	キャリア入門B キャリア入門C 日本語ライティングA	兼任	講師	キャリア入門B キャリア入門C 日本語ライティングA	兼任	講師	キャリア入門B キャリア入門C 日本語ライティングA
		日本語ライティングB 日本語ライティングC			日本語ライティングB 日本語ライティングC			日本語ライティングB 日本語ライティングC
					鈴木 秀紀 平成29年4月			鈴木 秀紀 平成29年4月
	講師		兼任	辨師	平成29年4月 事業戦略とイノベー ション	兼任	講師	平成28年4月 事業戦略とイノベー ション
					/3/			ラョン 酒井 善則 平成30年4月
	講師					兼任	講師	ダイパーシティと情 報通信
								村重 慎一郎 平成30年4月
	講師					兼任	講師	データ分析実践
								<u> </u>

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定)年月 > 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名(年齡) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名	専任・ 兼担・ か別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名
	講師					兼任	講師	浜 由樹子 平成30年4月 歴史入門
	講師					兼任	講師	山下 獎 平成30年4月 会計 (演習付講義)

- ・ 設置認可時又は届出時の教員をて(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。 その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。** ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。 ・ 専任、兼担、兼任の順に記入してください。

- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度 及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、 詰めてください。

#### 【平成29年度】

- 【千成 2 9 千後】

  ・大学全体の第2ターム見直しによる科目増設のため、黒田順子兼任講師を採用。
  ・大学全体の第2ターム見直しによる科目増設のため、鈴木秀紀兼任講師を採用。
  ・大学全体の第2ターム見直しによる科目増設のため、Richard King Tai 兼任講師の担当科目増。
  ・入学者増に伴うクラス数増のため、大島奉兼任講師を採用。
  ・入学者増に伴うクラス数増のため、大島本東任講師を採用。
  ・入学者増に伴うクラス数増のため、高岡幸世兼任講師を採用。
  ・入学者増に伴うクラス数増のため、高岡幸世兼任講師を採用。

### 【平成<u>30年度】</u>

- 【平成30年度】

  ・ 平成30年4月伊藤(安福)由希子准教授から教授昇格。平成30年2月教員審査済み。
  ・ 荒田(下川)映子講師辞任により、山下奨講師に変更。
  ・ 小阪裕城講師辞任により、浜由樹子講師に変更。
  ・ 2年生英語クラス増対応のため、大島幸兼任講師を採用。
  ・ 2年生英語クラス増対応のため、大島幸東任講師の程間増。
  ・ 2年生英語クラス増対応のため、Robert Spivak兼任講師の科目増。
  ・ 2年生英語クラス増対応のため、Robert Spivak兼任講師の科目増。
  ・ 2年生英語クラス増対応のため、明田晶子兼任講師の科目増。
  ・ 2年生英語クラス増対応のため、町田晶子兼任講師の利目増。
  ・ 2年生英語クラス増対応のため、町田晶子兼任講師の利目増。
  ・ 2年生英語のラス増対応のため、西井義則兼任講師を採用。
  ・ 3時調座開設のため、酒井義則兼任講師を採用。
  ・ 小坂 洋子兼任講師辞任のため、「和集制・経講師を採用。
  ・ Hinton兼任講師を採用。
  ・ Hinton兼任講師担当科目滅のため、Michele Joy Joel 兼任講師を採用。
  ・ Weingerg兼任講師担当科目滅のため、Carey Mamiko Nakata兼任講師を採用。

- (注)・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  ・ <mark>窓可で設置された学部等の事任敬員を変更する場合</mark>は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
  ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略 となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から 平成29年度)の表は適宜削除してください。

### (2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
14	7
名	名

(注)・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

#### (2) -② 専仟教員数

	100	设置時の計画	画			現在(報	告書提出時	)の状況	現在(報告書提出時)の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	教 授	教 授 准教授		助教	計 (B)	教 授	准教授	講師	助教	計 (C)
11	3	0	1	15	12	2	0	1	15	12	2	0	1	15
(8)	(2)	(0)	(1)	(11)						[+1]	[△1]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。
  ・「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
  ・「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、「現在(報告書提出時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、
  完成年度までに試任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名滅の場合:△1)

#### (2) - ③ 年齢構成

	年齡構成	
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(B))の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
68	0	1
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)。 「午節情成」には、当該子部におげる教員の定年に関する規定に基づくた年午節(特例等による定年午節ではありません)および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
   なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

  - (2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在(報告書提出時)の完成年度時の計画(C) \_ \_ 設置時の計画(A)

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - (2) 一⑤ 現在(報告書提出時)の状況における定年を延長している教員構成率

<u>報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数</u> =  $\frac{0}{15}$ 

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

### (3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

#### 該当なし

PRF 1	1.6	_														
番	号.	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予算	定科目	後任補充	状況		就任	£辞退(	未就·	任)の理由		
					必修											
1					選択											
					必修											
					自由											
2					必修											
					必修											
				合計	(D)					後	6任補充状況	の集計	(E)			
	就	任る	辞	退した教員数	担当科目数の合語	計 (a) + (b	) + (c)	①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の行					③の合計	合計数 (c)		
				-	必修	#VALUE!	科目	必修	00	科目	必修	00	科目	必修	00	科目
			_		選択	#VALUE!	科目	選択	00	科目	選択	00	科目	選択	00	科目
			0	人	自由	#VALUE!	科目	自由	00	科目	自由	00	科目	自由	00	科目
					計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) · 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
  - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3)-②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等および()書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

    - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

### (3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

### 該当なし

番 号 職 位 専任教員氏名 🕹 修・選択・自由の別 担当予定科目							後任補充	状況			辞任	等の	理由		
				必修											
1	教	授		選択											
				必修											
				自由											
2	12.17														
				必修											
			合計	(F)					後	任補充状況	の集計	(G)			
	舒	揺し	た教員数	担当科目数の合語	† (a) +	(p) + (c)	① の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計					数(c	)		
				必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		_		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		0	人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
				計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**についてに記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

  - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

## (3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計(E)+(G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計	十数(a)	②の合計	十数(b)	③の合計数 (c)			
		必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
0	, –	選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目		
		自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目		

### (3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)-③合計(D)+(F) (2) - ②設置時の計画(A) = 0 0 #DIV/0! %

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

### (3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

該当なし

番号	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当	予定科目	目 後任補充状況		辞任等の理由						
				必修											
1				選択											
				必修											
				自由											
2				必修											
				必修											
	合計				後任補充状況の集計										
	辞任した教員数 担		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数(a)			②の合計	数(b)	)	③の合計	数(	c)		
			-	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
				選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		0	人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
				計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) · 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

  - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

当該事項なし		

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を 記入してください。

# 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留意事項	等	履行状況		未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年8月)	学位の分野が法学のの分野が表別である。 学のかののののののののののののののののののののののののののののののののののの	留意事項	であります。 学こ」しの誤請・いノ変領お・し覧成う が要るそんなコン域ポピスエリまっに が要るそんなコン域ポピスエリまっに が要るそんなコン域ポピスエリンカ、した。 学のと他いよミ」をシラのノし、 でのといいノト名リ要)コとたっ国の でのとでいノト名リ要)コとたった。 でのとでいくし、 でのとでのとでいく、 でのとでのとでいく、 でのとでいくと、 でいくと、 でいく、 でいく、 でいくと、 でいくと、 でいく、 でいく、 でいく、 でいく、 でいく、 でいく、 でいく、 でいく、 でいく、 でいく、 でいく、 でいく、 でいく、 でいく でいく、 でいく、 でいく、 でいく、 でいく でいく、 でいく、 でいく、 でいく、 でいく、 でいく、 でいく、 でいく、 でいく でいく、 でいく、 でいく でいく、 でいく、 でいく、 でいく、 でいく、 でいく、 でいく、 でいく、 でいく、 でいく、 でいく、 でいく、 でいく、 でいく、 でいく でいく、 でいく でいく、 でいく、 でいく でいく でいく でいく でいく でいく でいく、 でいく でいく でいく でいく でいく でいく でいく でいく	履行済	
設 置 時 (平成28年8月)	本クの意客とれ策をでや科ので、大学・では、他では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	留意事項		未履行	政策調整や政策評価に関する科目開設に向け、2017年度に引き続き検討中である。 (30)
設 置 時 (平成28年8月)	本政バ子すく追し目「扱高限かの修に学策ル高る捉究でと総う齢定ら解で改いはITな問解もが位策題係で会を内にが及にを方と概付論、問る題はに、のる、化ど題決の、置概はるい問幅容と、で及にを方と概付論、問る題はに。 置概はるい問幅容と 動物の と	留意事項	「のたと方目置づく齢間マ革そ的内しるのたと方目置づく齢間マ革そ的内は、さ科代的上の、課理に授るのが、さ科代的上のが表現問問のこと会理、リチ題論が学せ目社なげ財、、景決学ス施は解題問いこしを題少、様き原とに特をして特をインを関いが実施が、、景決学ス施が、は、大学のののできた。(29)を、(29)を、(29)を、(29)を、(29)を、(29)を、(29)を、(20)を、	履行済	
設 置 時 (平成28年8月)	「容け内め題も的点のしめのに主る話と基内とされば、は、というでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	留意事項	「社、現中のが面、死、たを明が見いでしている学者では、現中のが面、死、たをりをはずせ、現中のが面、死、たを明か見にない。というでは、実す労別れし、対象には、世際の側をられている学のでは、世界のいる学をもある。の人でも、大きのでは、なりのでは、ないのではないのでは、ないのではないのではないのではないのではないのではないのではないのではないのでは	履行済	

設 置 時 (平成28年8月)	運動場及び体育館が 別地にあるに支にの いようにすることの いよよより、学生の 外活動等に配慮する 外活動等に配慮する		学生配付のハンドブック 等への小平キャンパスの グラウンドや体育施設が 自由に利用可能であるこ とを記載し、入学後のオ リエンテーション等で説 明を行った。(29)	履行済	
設置計画履行状況調查時	総合政策学部総合政 策学科の入学定員超 過の改善に努めるこ と。	改善意見	平成30年度入学試験において、適切な入学者数を確保するべく、本学他学科の過去のデータ分析、入学手続き状況の把握により、入学定員110人に極めて近い入学者の確保に努めた。その結果、105人の入学者を確保した。(30)	履行済	

- (注)・「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(<u>学校法人の</u> <u>寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。</u>)と、それに対する履行状況等 について、具体的に記入し、<u>報告年度を()</u>書きで付記してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

### 7 その他全般的事項

<総合政策学部 総合政策学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	平成29年度中に計画変更となった事項はない。

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD·SD活動含む)
- ① 実施体制
  - a 委員会の設置状況

全学SD·FD委員会

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

副学長(教学・国際担当)、学芸学部教務委員長、総合政策学部教務責任者、研究科委員長のうちから互選により選出された者一名、事務局長、その他必要に応じて学長が指名する者を以って構成し、不定期開催となっている。 (2017年度は5回開催)

- c 委員会の審議事項等
- (1) 教育改善・向上のためのSD・FD活動の計画・企画・実施
- (2) 学生による授業評価に関わる事項
- (3) その他、SD·FD活動に関わる事項
- ② 実施状況
  - a 実施内容
- ・講演会・研修会の開催(ハラスメント防止、発達障害理解など)
  - 教職員の為のハラスメント防止のための研修会
  - 危機管理シミュレーション
  - 入試動向説明会
  - マネジメントスキル講座
  - 講演会「発達障害のある人の理解と支援の共生」
  - 講演会「津田塾が切り拓くInclusiveな未来」
- ・学内助成事業「FD支援費」により実施されたFD活動の成果報告会
- ・シラバスの第三者点検
- ・学生による授業評価アンケートの分析およびその結果に基づく「優良教育賞」授賞者の推薦
- ・大学院授業評価アンケート報告会の開催
  - b 実施方法

講演会・研修会は、教授会終了後に実施するなど、参加しやすい時間帯に開催した。また、キャンパス間を繋ぐTV会 議システムを活用し、キャンパス間を跨ぐ全学的な実施を行った。

シラバス点検は、全学SD・FD委員会より各教育課程の長宛に点検を依頼・実施した。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

講演会・研修会は、5月から11月にかけて計6回開催した。「FD支援費」の成果報告会については、当日参加できなかった者には録画映像を視聴できるように整えた。その結果、これらFD活動への参加率は、大学全体で98.8%、総合政策学部に関しては100%であった。

シラバス点検は、全教育課程より点検完了報告を受領した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

「FD支援費」を受けて推進した取組は、成果報告会で全学にフィードバックしているほか、成果報告書の提出を義務 付け、自己点検評価をとおしたさらなる改善につなげた。

総合政策学部においては、学部の教育方針・教育方法等共有のため学部独自の研修会を2回実施した。

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
  - a 実施の有無及び実施時期

集中講義以外の全クラスを対象に、授業終盤に1回実施

## b 教員や学生への公開状況, 方法等

科目担当者には当該科目の集計結果を製本して配付、当該科目の属する教育課程の長には該当の全科目の集計結果を配 付した。学生へは、翌年度7月に、前年度の集計結果の概要を大学広報誌および公式ホームページにて公表した。

(注) · 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

総合政策学部は、現代社会が直面する諸課題の解決や新しい社会システムの構想に取り組み、より良い社会の仕組みを つくりだすことのできる、リーダーシップを備えた女性を育成することを目的としている。

その目的のためのカリキュラム、授業配置は初年度に引き続き計画通り実施している。

2017年度入学者が入学定員より多かったことから、2年次の英語、セミナーについては、1クラスの人数を変更せず、クラス数を増加して教育効果を維持できるように体制を整えた。2018年度からの授業担当者(兼任含む)対象の研修会および英語担当者のみの事前研修も開設前年度に引き続き実施し、本学部の教育の姿勢を理解するとともに、同質の教育を提供できるような体制を整えて新学年を迎えている。

2年次のデータ・サイエンスの基礎科目も予定通り開講し、1年次のデータ・サイエンス科目と同様、演習助手を配置し、学生の理解を深めるよう体制を整えた。さらに、本学部の研究・教育充実のために、総合政策学部開設と同時に設置した「総合政策研究所」は、学内外の研究者により着々とその活動を展開しており、学生主体のプロジェクトもいくつか発足し、学生の社会での実践活動を支援している。

本学部は、中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」で提示されている大学の7機能のうち、とりわけ「幅広い 職業人養成」と「社会貢献機能(産学官連携、地域貢献)」を重点的に担うことを学部の機能として据えている。

「社会貢献機能(産学官連携、地域貢献)」については、本学は2017年度中に以下の地域等と包括的連携協定を締結し、協定に基づく各種プロジェクトが立ち上がっている。プロジェクトには総合政策学部の教員が関わり、学生の課題解決実習の場を提供している。

2018年4月現在の包括連携協定締結地域:福井県鯖江市、長野県飯田市、東京都渋谷区、公益社団法人日本将棋会館、岩手県住田町、東京都国分寺市、特定非営利活動法人佐原アカデミア、干葉県佐倉市、成田国際空港株式会社。また、2020年のオリンピック・パラリンピック開催会場に近い大学として、本学は「地元千駄ヶ谷や地域との連携、産官学の連携、官民データ連携」を合言葉に、教職員・学生が一丸となって様々な活動をしてきており、その中で「津田塾生」が自ら企画し、社会実装を体験できるよう「津田2020オリパラ・プロジェクト(正式名称は、「2020東京スポーツイベント情報連絡会議」)」を立ち上げ、活動を開始している。

型生」が自らに回じ、社会大家と体験できるカーに回じなり、カバン フロフェット (正式で)が16、 1200年のパバル ツイベント情報連絡会議」) 」を立ち上げ、活動を開始している。学生の学外学修については、前述の地域連携協定に基づくプロジェクトのほかに、大学の「学外学修センター」が企業や団体等との連携に基づき、国内外での各種プログラムが提供され、2018年度においてもプログラムがすでに多数提供されている。

2017年4月から2018年2月までに、学外学修センターが取り扱ったプログラムへの本学学生の学外学修参加者は276人、そのうち総合政策学部の学生は56人で、総合政策学部1年生の実に34.5%となっている。

本学部のアドミッション・ポリシーに基づき、基礎学力とともに多様な能力や資質を備える学生を選抜するため、2018年度入学試験は、一般入学試験・大学入試センター試験利用入学試験のほかに、推薦入学試験、A0入学試験、特別入学試験(外国人留学生対象、海外帰国子女対象、在日外国人学校出身者対象、社会人対象)を実施した。志願者数1,352人に対し、105人の入学者を確保した。

- ② 自己点検・評価報告書
  - a 公表(予定)時期
    - •平成37年4月1日 公表予定
  - b 公表方法
    - ・大学ホームページ上に公開予定(平成37年4月を予定)
- ③ 認証評価を受ける計画
  - ・平成37年度に評価機関(大学基準協会)の評価を受けるべく、学内で検討中
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

## (4) 情報公表に関する事項

## 〇 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表 (予定) の有無 ( 有 ・ 無 )

- b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期 ( 平成30年9月)
- (注)・「a ホームページに公表(予定)有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。
  - ・ 「b 公表(予定) 有の場合の公表(予定) 時期」には、「a ホームページに公表(予定) 有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。